

5 Aterm を設定する

Aterm の設定のしかたを説明します。

ここでは、

パソコンでらくらくユーティリティ

(Windows®98/Windows®95、

WindowsNT®4.0 ㊦5-2 ページ、

Macintosh ㊦5-28 ページ)を使用した設定と

電話機からの設定 (らくらくテレホン設定 ㊦5-49 ページ)

を説明します。

5-1. パソコンで設定する

(Windows98/Windows95, Windows NT4.0での設定)

「らくらくユーティリティ」を使った設定のしかたを説明します。

らくらくユーティリティの起動のしかた

ステップ1

データポートやUSBポートを他のアプリケーションで使用している場合は、他のアプリケーションを終了します

ステップ2

Windowsの **スタート** → [プログラム] → [AtermIT60Lユーティリティ] → [IT60Lらくらくユーティリティ] の順に選択します

(ユーティリティをインストールしたときにプログラムフォルダ名を変更した場合は、上記と異なります)

ステップ3

「らくらくユーティリティ」が起動し、[IT60Lらくらくユーティリティ]画面が表示されます

各画面の設定のしかた

- 設定する機能を選択し、設定します (☉や☑をチェックする)
- 文字入力は入力欄 をクリックして、キーボード入力します
- 設定内容を登録します (**OK** ボタンをクリックして登録完了)

注意!

- アナログポート着信中は **OK** ボタンをクリックしないでください。クリックすると呼出音が途切れたりすることがあります。
- 着信中はアナログポートの設定内容を登録することはできません。

設定が終わったら

すべての登録が終わって、「らくらくユーティリティ」を終了する時は必ず [IT60Lらくらくユーティリティ] 画面で **OK** ボタンをクリックしてAtermのフラッシュメモリに書き込みます。

これでAtermの電源を切っても設定値が消えません。



参考

困った時は **ヘルプ** ボタンをクリックして、内容を確認しましょう。

Windows®98は、Microsoft® Windows®98 operating systemの略です。

Windows®95は、Microsoft® Windows®95 operating systemの略です。

Windows NT®4.0は、Microsoft® Windows NT® operating system version 4.0の略です。

【IT60L いろいろユーティリティ】画面

表示欄

- 本ページ
- 5-20 ページ
- 5-5 ページ
- 5-9 ページ

設定する機能を選んでクリックしてください。

設定したあとは、必ず[閉じる]ボタンをクリックして、登録してください。

● アナログポートの設定

ここでは、アナログAポートの登録で説明します。
 電話中などで使用しているときは登録できませんので、電話を切ってから設定をおこなってください。

<アナログポートの設定画面>

[番号設定] ボタン

- 1: [番号設定] ボタン
- 2: 発信番号通知 (ON/OFF)
- 3: 通話番号 (INX-101-64の標準値)
- 4: 発信番号 (標準/小/標準中/標準大)
- 5: 伝呼の動作 (伝呼に答へず/伝呼に答へず/伝呼に答へず)
- 6: 電話 (電話)
- 7: 伝呼 (伝呼に答へず)
- 8: 番号の送付方法 (標準/小/標準中/標準大)

[高度な設定] ボタン

設定したあとは必ず[OK]ボタンをクリックして、登録してください。

① 着信番号（初期値：設定なし※）

アナログAポートで着信させる電話番号を設定します。

設定は、「番号設定」ボタンをクリックして表示された「電話番号テーブル」画面でおこないます。☞次ページ

※「らくらくウィザード」で既に設定した場合は、その内容がここに表示されます。

② 通知番号（初期値：設定なし）

「電話番号テーブル」で設定した番号が表示されます。☞次ページ

③ 発信者番号通知（初期値：INS ネット 64 の申込通り）

契約者回線番号、i・ナンバーまたはダイヤルイン番号を相手に通知するかどうかを設定します。

④ 受話音量（初期値：音量・中）

アナログポートの受話音量を設定します。

「音量・小」にすると聞こえる音は小さく、「音量・大」にすると大きくなります。

⑤ 停電時の動作（初期値：停電時に着信する／リング(着信音)を鳴らす)(Aポート)

停電時に着信するかしないかを設定します。

停電時に着信する場合は、リング(着信音)を鳴らすかブザーを鳴らすかを選びます。「ブザー」に設定した場合、停電モード時に着信があるとAterm内蔵のブザーが鳴ります。ただし、「アナログダイヤルインを使用する」に設定している場合は、ブザーが鳴らずにリングが鳴ります。

ナンバー・ディスプレイやモデム・ダイヤルインをご利用の場合は、停電時の着信音を「リング」にすることを推奨します。「ブザー」に設定されていると、発信者番号や着信番号が正常に表示されない場合があります。

⑥ 接続機器（初期値：電話機）

アナログポートに接続した通信機器を設定します。

「らくらくウィザード」で既に設定した場合は、その内容がここに表示されます。ファクス付き電話機は「FAX/ モデム」を選択します。

⑦ キャッチホン（初期値：使用しない）

キャッチホンの種類を選択します。

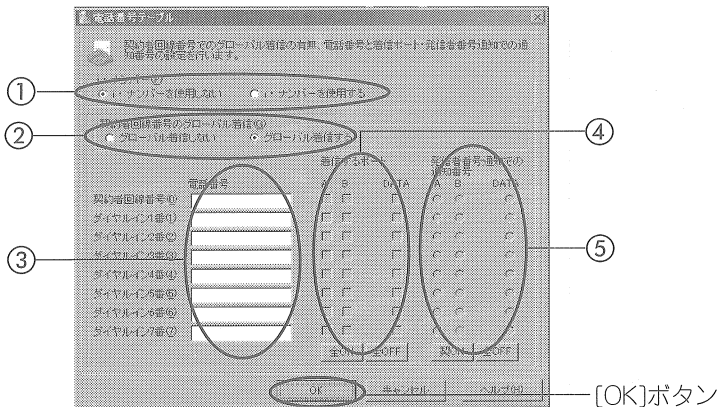
⑧ 情報通知サービス（初期値：使用しない）

着信した電話番号をアナログポートに接続した電話機に通知するサービスの種類を設定します。

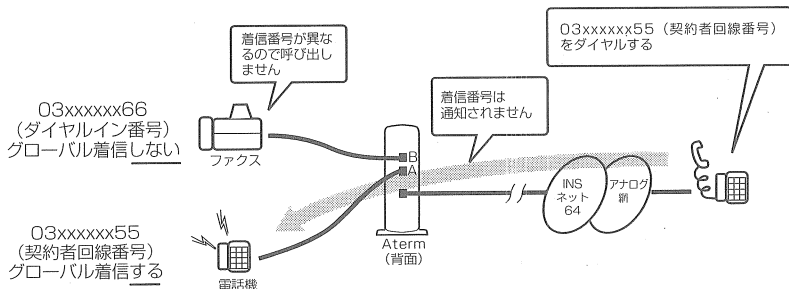
「モデム・ダイヤルインを使用する」、「ナンバー・ディスプレイ+モデム・ダイヤルインを使用する」、「アナログ・ダイヤルインを使用する」に設定したときは、あわせて「番号の送出方法」ボタンをクリックして、アナログAポートに送出する番号も設定します。☞5-7ページ

キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合は「ナンバー・ディスプレイを使用する」または「ナンバー・ディスプレイ+モデム・ダイヤルインを使用する」のどちらかを選択し、あわせて「キャッチホン・ディスプレイを使用する」を にします。

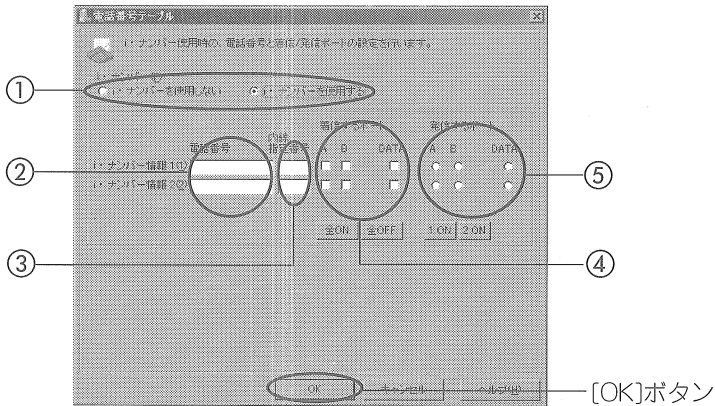
● 電話番号テーブル (契約者回線番号 / ダイヤルイン番号を登録)



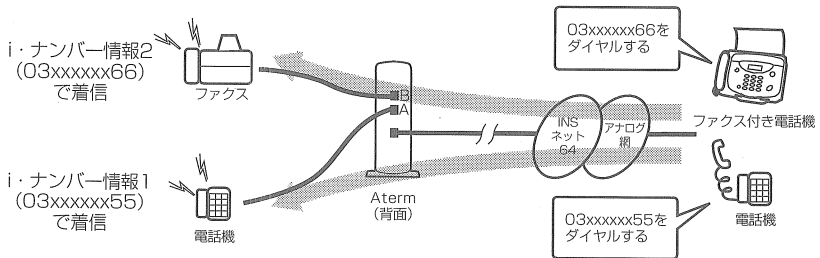
- ① [i・ナンバーを使用しない] をクリックします。
[i・ナンバーを使用する] に設定する場合は、次のページの「i・ナンバーを登録」を参照してください。
- ② 契約者回線番号のグローバル着信 (初期値: グローバル着信する)
INSネット64付加サービスで契約した契約者回線番号のグローバル着信する/しないを設定します。
※「らくらくウィザード」で既に設定をした場合は、その内容がここに表示されます。
- ③ 電話番号設定 (初期値: 設定なし)
契約者回線番号と契約しているダイヤルイン番号を入力します。
- ④ 着信するポート (初期値: 設定なし)
かかってきた電話番号でどのポートを呼び出すかを設定します。
呼び出すポートの□をクリックして設定します。
- ⑤ 発信者番号通知での通知番号 (初期値: 設定なし※)
発信したときに通知する電話番号をポート毎に設定します。
○をクリックして設定します。
※「らくらくウィザード」で既に設定した場合は、その内容がここに表示されます。
※ [全OFF] ボタンをクリックした場合は、[アナログポートの設定] 画面で設定した「発信者番号通知」の内容に従います。



● 電話番号テーブル (i・ナンバーを登録)



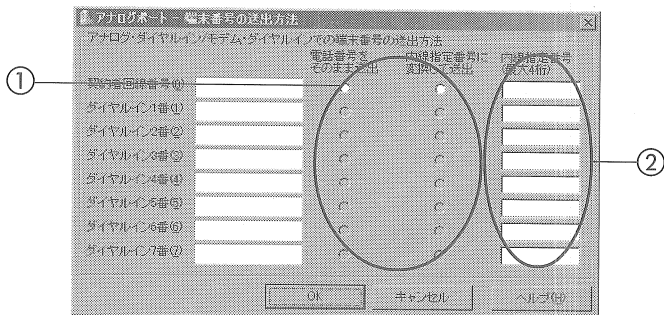
- ① [i・ナンバーを使用する] をクリックします。
- ② 電話番号 (初期値: 設定なし)
i・ナンバー情報ごとに電話番号を入力します。
- ③ 内線指定番号 (初期値: 設定なし)
アナログ・ダイヤルインを使用するときを設定します。
0～9までの数字を使って4桁の任意の番号を設定できます。
☞ 2-39 ページ
- ④ 着信するポート (初期値: 設定なし)
かかってきたi・ナンバーでどのポートを呼び出すかを設定します。
呼び出すポートの口をクリックして設定します。
- ⑤ 発信するポート (初期値: 設定なし※)
発信するi・ナンバーをポートごとに設定します。
○をクリックして設定します。
※「らくらくウィザード」で既に設定した場合は、その内容がここに表示されます。



注意!

電話番号の設定を正しくおこなわないと、相手に正しい電話番号が伝わらなかったり、INS ネット 64 の各種サービスが利用できない場合があります。

● 番号の送出方法



ダイヤルサービスを利用している場合で、アナログ・ダイヤルインやモデム・ダイヤルインを使用するときに、アナログポートに接続した通信機器に送出する電話番号を設定します。

① 端末番号の送出方法（初期値：電話番号をそのまま送出）

電話番号をそのままアナログポートに送出するか、電話番号を内線指定番号に変換して送出するかを設定します。

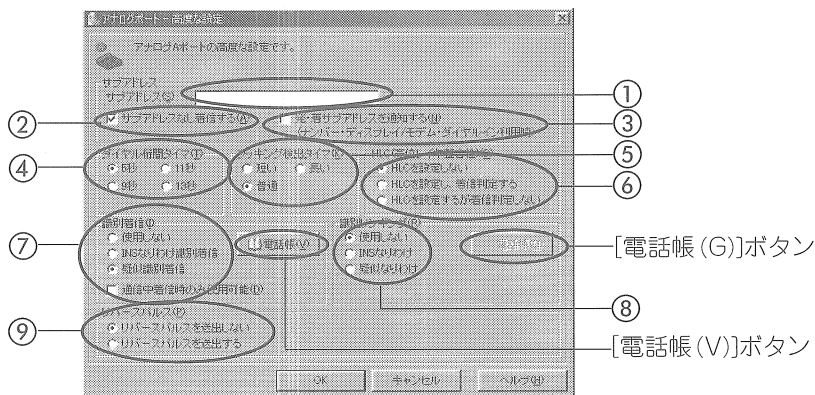
「送出する」側の○をクリックして●にします。

② 内線指定番号（初期値：設定なし）

アナログ・ダイヤルインを使用するときに設定します。

0～9までの数字を使って4桁の任意の番号を設定できます。

● アナログポートの高度な設定



- ① サブアドレス (初期値：設定なし)
サブアドレスを入力します。
- ② サブアドレスなし着信する (初期値：サブアドレスなし着信する)
サブアドレスがない着信を受けるかどうかを設定します。
- ③ 発・着サブアドレスを通知する
(ナンバー・ディスプレイ / モデム・ダイヤルイン利用時) (初期値：通知しない)
アナログポートにサブアドレスを通知するかどうかを選択します。
- ④ ダイヤル桁間タイマ (初期値：5秒)
ダイヤル桁間タイマを設定します。「5秒」、「9秒」、「11秒」、「13秒」から選択します。
- ⑤ フッキング検出タイマ (初期値：普通)
フッキング検出タイマを設定します。
短い：0.03～1秒 普通：0.3～1秒 長い：0.5～1.5秒
- ⑥ HLC (高位レイヤ整合性) (初期値：HLCを設定しない)
HLC (高位レイヤ整合性) の設定をします。
- ⑦ 識別着信 (初期値：使用しない)
識別着信をおこないます。
「疑似識別着信」に設定した場合は、「電話帳 (V)」 ボタンをクリックして識別着信する電話番号も設定します。☎5-12ページ
選択キャッチホンするときに「通信中着信時のみ使用可能」のチェックボックスを にします。
- ⑧ 識別リンギング (初期値：使用しない)
「疑似なりわけ」に設定した場合は、「電話帳 (G)」 ボタンをクリックして識別なりわけする電話番号も設定します。☎5-13ページ
- ⑨ リバースパルス (初期値：リバースパルスを送出しない)
リバースパルスを送出するかどうかを設定します。
リバースパルスの検出によって通話を終了するしくみを持つ電話機対応の設定です。
留守番電話などで通話が切断されないときは「リバースパルスを送出する」に設定します。

電話帳に登録する

電話番号はそれぞれの〔電話帳〕画面で登録します。

[IT60Lらくらくユーティリティ]画面の〔電話帳〕ボタンをクリックすると、次の画面が表示されます。



短縮ダイヤル ☞ 5-10 ページ

マイブライベート着信 ☞ 5-11 ページ

疑似識別着信 ☞ 5-12 ページ

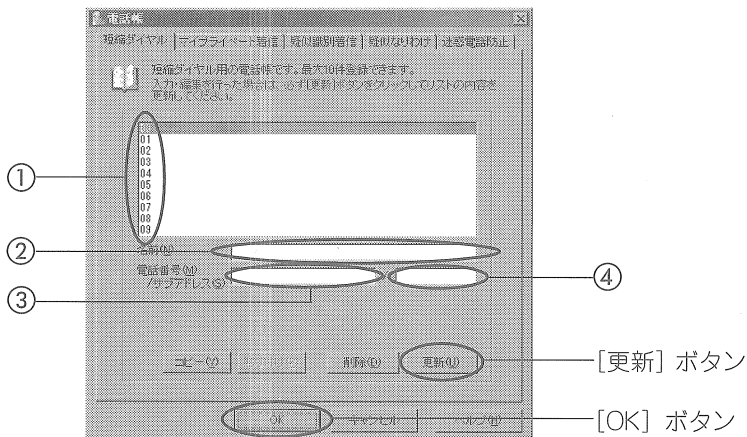
[アナログポーター高度な設定]画面で識別着信の「疑似識別着信」を選択して、**電話帳** ボタンを押しても表示されます。

疑似なりわけ ☞ 5-13 ページ

[アナログポーター高度な設定]画面で識別リングの「疑似なりわけ」を選択して、**電話帳** ボタンを押しても表示されます。

迷惑電話防止 ☞ 5-14 ページ

● 短縮ダイヤル用の電話帳に登録する



ステップ 1

- ① 登録する番号を選択します
番号は00～09まで設定することができます。
- ② 名前の入力欄をクリックし、相手の名前を任意に入力します
- ③ 電話番号の入力欄をクリックし、相手の電話番号を市外局番から入力します
- ④ サブアドレスがあるときは、サブアドレスの入力欄をクリックし、サブアドレスを入力します

ステップ 2

更新 ボタンをクリックします

※続けて登録する場合はステップ1～ステップ2を繰り返します。

ステップ 3

入力が終了したら **OK** ボタンをクリックします

[IT60L らくらくユーティリティ] 画面に戻ります。

登録内容を削除するときは

ステップ 1

削除する番号を選択します

ステップ 2

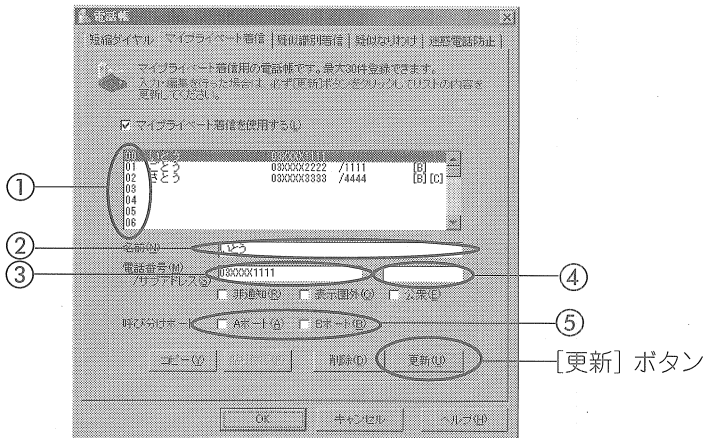
削除 ボタンをクリックします

※続けて削除する場合はステップ1～ステップ2を繰り返します。

ステップ 3

削除が終了したら **OK** ボタンをクリックします

● マイプライベート着信用の電話帳に登録する



ステップ1

[マイプライベート着信を使用する]のチェックボックスをクリックして☑にする
マイプライベート着信を使用しないときは、[マイプライベート着信を使用する]のチェックボックスをもう一度クリックして☑を外します。

ステップ2

① 登録する番号を選択します

番号は00～29まで設定することができます。

② 名前の欄をクリックし、相手の名前を任意に入力します

③ 電話番号の入力欄をクリックし、相手の電話番号を市外局番から入力します

④ サブアドレスがあるときは、サブアドレスの入力欄をクリックし、サブアドレスを入力します

非通知、表示圏外、公衆の着信を設定する場合は、それぞれの項目の左側のチェックボックスをチェックして☑にします。

⑤ 呼び分けポートを選択します

呼び分けポート欄の中から着信するポートの前のチェックボックスを☑にします。

ステップ3

[更新] ボタンをクリックします

※ 続けて登録する場合はステップ2～ステップ3を繰り返します。

ステップ4

入力が終了したら [OK] ボタンをクリックします

[IT60L らくらくユーティリティ] 画面に戻ります。

登録内容を削除するときは

ステップ1

削除する番号を選択します

ステップ2

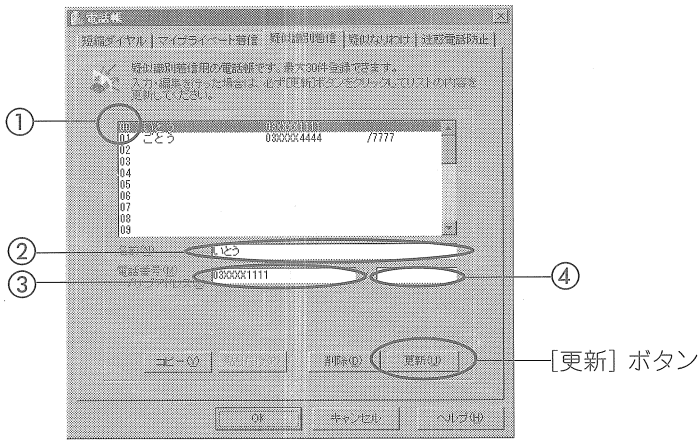
[削除] ボタンをクリックします

※ 続けて削除する場合はステップ1～ステップ2を繰り返します。

ステップ3

削除が終了したら [OK] ボタンをクリックします

● 疑似識別着信用の電話帳に登録する



ステップ1

① 登録する番号を選択します

番号は00～29まで選択することができます。

② 名前の欄をクリックし、相手の名前を任意に入力します

③ 電話番号の入力欄をクリックし、相手の電話番号を市外局番から入力します

④ サブアドレスがあるときは、サブアドレスの入力欄をクリックし、サブアドレスを入力します

ステップ2

更新 ボタンをクリックします

※ 続けて登録する場合はステップ1～ステップ2を繰り返します。

ステップ3

入力が終了したら **OK** ボタンをクリックします

[IT60L らくらくユーティリティ] 画面に戻ります。

登録内容を削除するとき

ステップ1

削除する番号を選択します

ステップ2

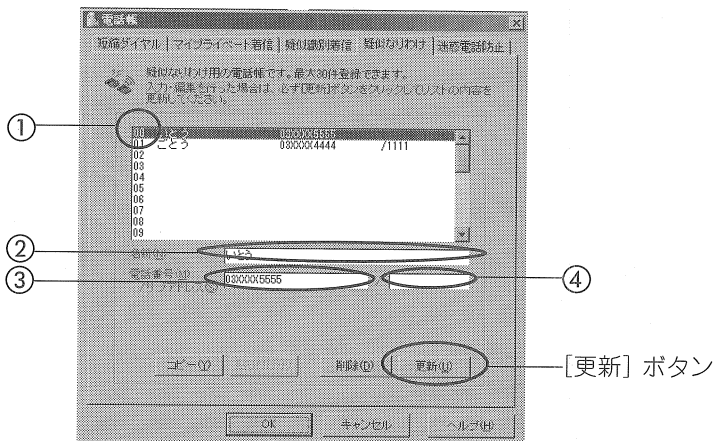
削除 ボタンをクリックします

※ 続けて削除する場合はステップ1～ステップ2を繰り返します。

ステップ3

削除が終了したら **OK** ボタンをクリックします

● 疑似なりわけ用の電話帳に登録する



ステップ1

① 登録する番号を選択します

番号は00～29まで設定することができます。

② 名前の欄をクリックし、相手の名前を任意に入力します

③ 電話番号の入力欄をクリックし、相手の電話番号を市外局番から入力します

④ サブアドレスがあるときは、サブアドレスの入力欄をクリックし、サブアドレスを入力します

ステップ2

[更新] ボタンをクリックします

※ 続けて登録する場合はステップ1～ステップ2を繰り返します。

ステップ3

入力が終了したら [OK] ボタンをクリックします

[IT60L らくらくユーティリティ] 画面に戻ります。

登録内容を削除するときは

ステップ1

削除する番号を選択します

ステップ2

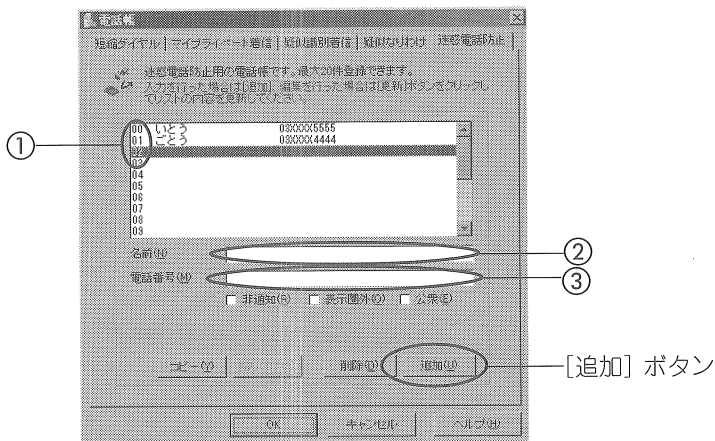
[削除] ボタンをクリックします

※ 続けて削除する場合はステップ1～ステップ2を繰り返します。

ステップ3

削除が終了したら [OK] ボタンをクリックします

● 迷惑電話防止用の電話帳に登録する



ステップ1

① 登録する番号を選択します

番号は00～19まで選択することができます。

② 名前の欄をクリックし、相手の名前を任意に入力します

③ 電話番号の入力欄をクリックし、相手の電話番号を市外局番から入力します

非通知、表示圏外、公衆の着信を設定する場合は、それぞれの項目の左側のチェックボックスをチェックして☑にします。

ステップ2

[追加] ボタンをクリックします

※ 続けて登録する場合はステップ1～ステップ2を繰り返します。

ステップ3

入力が終了したら [OK] ボタンをクリックします

[IT60L らくらくユーティリティ] 画面に戻ります。

※ すでに登録されているデータを修正したときは、必ず [更新] ボタンをクリックしてください。

登録内容を削除するときは

ステップ1

削除する番号を選択します

ステップ2

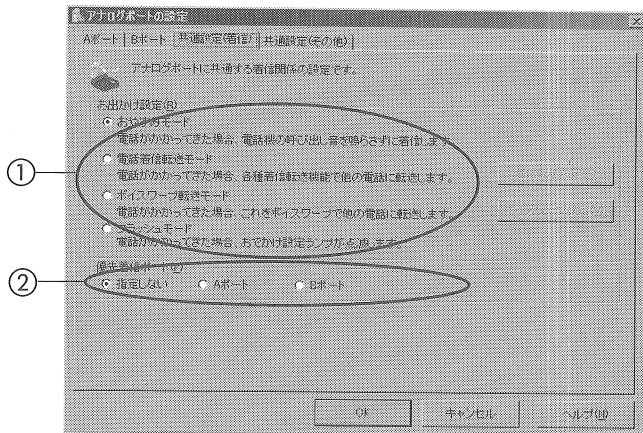
[削除] ボタンをクリックします

※ 続けて削除する場合はステップ1～ステップ2を繰り返します。

ステップ3

削除が終了したら [OK] ボタンをクリックします

● アナログポートの共通設定（着信）



① お出かけ設定（初期値：おやすみモード）

お出かけ設定をします。

●おやすみモード

おやすみモードを選びます。

●電話着信転送モード

電話着信転送モードを選びます。併せて着信転送設定をおこないます。☞次ページ

●ボイスワープ転送モード

ボイスワープ転送モードを選びます。併せてボイスワープ設定をおこないます。

☞5-18ページ

●フラッシュモード

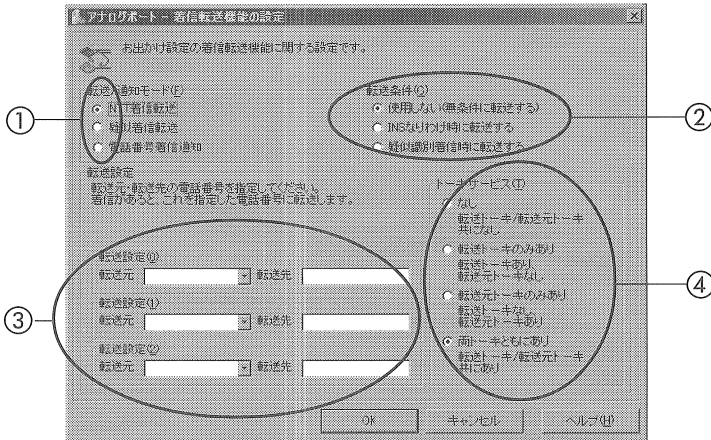
フラッシュモードを選びます。

② 優先着信ポート（初期値：指定しない）

優先着信をするかしないかの設定と優先着信するポートを設定します。

● アナログポートの着信転送機能の設定

[契約者回線番号 / ダイヤルイン番号の場合]



● 「NTT 着信転送」または「疑似着信転送」を選択した場合

① 転送 / 通知モード (初期値: 疑似着信転送)

着信転送の方法を選択します。

② 転送条件 (初期値: 使用しない (無条件に転送する))

転送条件を設定します。

「疑似識別着信時に転送する」に設定した場合は、あらかじめ疑似識別着信用の電話帳に疑似識別する電話番号を登録しておきます。

③ 転送設定 (初期値: 転送なし)

転送元の電話番号と転送先の電話番号を設定します。

転送元の電話番号はプルダウンメニューから選択します。

転送先の電話番号は入力します。

※ 転送元のプルダウンメニューは設定済みの着信番号が表示されるので、着信番号を設定した後でおこなってください。

④ トナーサービス (初期値: 両トナーともあり)

着信転送時に転送トナーと転送元トナーを流すかどうかを設定します。

疑似着信転送では、転送トナー / 転送元トナー共になしに固定されます。

● 「電話番号着信通知」を選択した場合

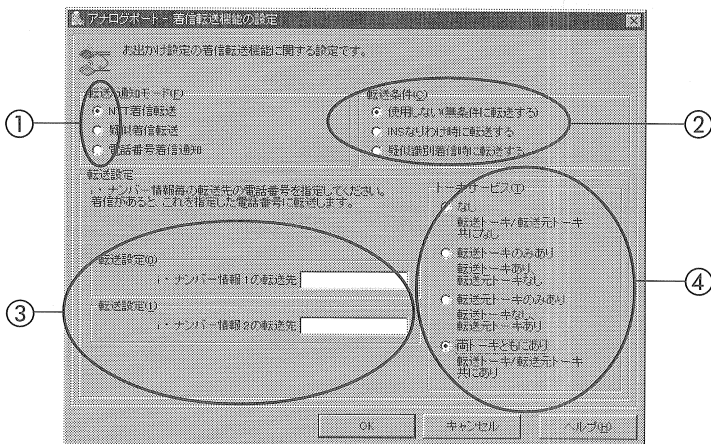
「着信転送先メールアドレス」の「BIGLOBE-ID」を入力してください。

転送元の電話番号はプルダウンメニューから選択します。

転送先の電話番号は入力します。

※ 転送元のプルダウンメニューは設定済みの着信番号が表示されるので、着信番号を設定した後でおこなってください。

[i・ナンバーの場合]



● 「NTT 着信転送」または「疑似着信転送」を選択した場合

① 転送／通知モード（初期値：疑似着信転送）

着信転送の方法を選択します。

② 転送条件（初期値：使用しない（無条件に転送する））

転送条件を設定します。

「疑似識別着信時に転送する」に設定した場合は、あらかじめ疑似識別着信用の電話帳に疑似識別する電話番号を登録しておきます。

③ 転送設定（初期値：転送なし）

転送元の電話番号と転送先の電話番号を設定します。

転送先の電話番号を入力します。

④ トーカーサービス（初期値：両トキとも）

着信転送時に転送トキと転送元トキを流すかどうかを設定します。

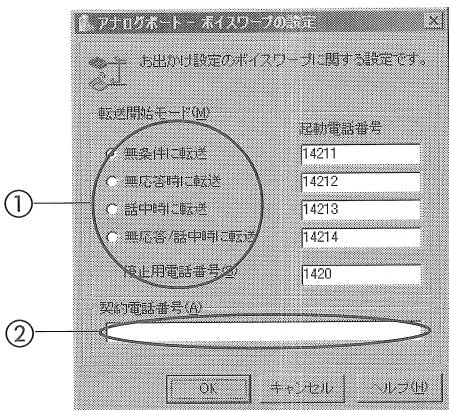
疑似着信転送では、転送トキ／転送元トキ共になしに固定されます。

● 「電話番号着信通知」を選択した場合

「着信転送先メールアドレス」の「BIGLOBE-ID」を入力してください。

転送先の電話番号は入力します。

● アナログポートのボイスワープの設定



① 転送開始モード

転送開始モードを選択します。起動電話番号がINS ネット64 付加サービス「INS ボイスワープ」で変更された場合は、新たに入力します。また、ボイスワープ停止用電話番号がINS ネット64 付加サービス「INS ボイスワープ」で変更された場合は、新たに入力します。

●無条件に転送

無条件に転送します。

●無応答時に転送

あらかじめ設定した秒数以内に応答しない場合に転送します。

●話中時に転送

お話中の場合、転送します。

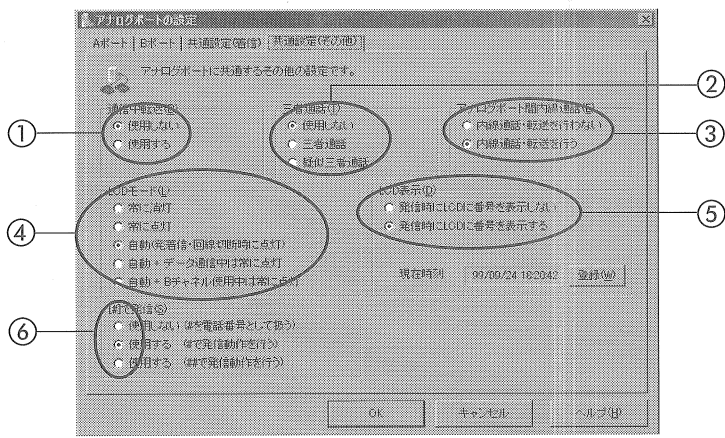
●無応答/話中時に転送

お話中の場合またはあらかじめ設定した秒数以内に応答しない場合に転送します。

② 契約電話番号

INS ボイスワープを契約した電話番号を入力します。

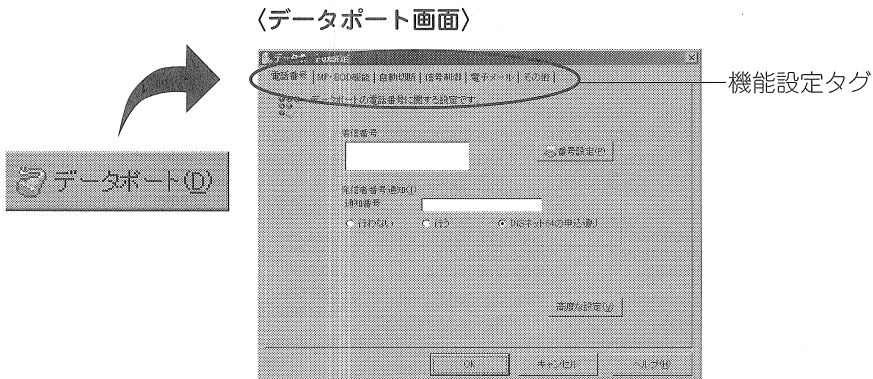
● アナログポートの共通設定（その他）



- ① **通信中転送（初期値：使用しない）**
通信中転送を使用するかしないかを設定します。
- ② **三者通話（初期値：使用しない）**
三者通話の設定をします。
- ③ **アナログポート間内線通話（初期値：内線通話・転送をおこなう）**
内線通話の設定をします。
- ④ **LCDモード（初期値：自動）**
液晶ディスプレイのバックライトの点灯のしかたを設定します。
- ⑤ **LCD表示（初期値：発信時にLCDに番号を表示する）**
液晶ディスプレイの番号表示を設定します。
「発信時にLCDに番号を表示する」に設定すると、発信するときにダイヤル番号をAtermの液晶ディスプレイに表示します。
- ⑥ **【#】で発信（初期値：使用しない）**
【#】を押すとすぐに発信するか、しないかを設定します。
[使用する] 場合は、【#】または【#】【#】（#を2回押す）で発信するかを選択します。

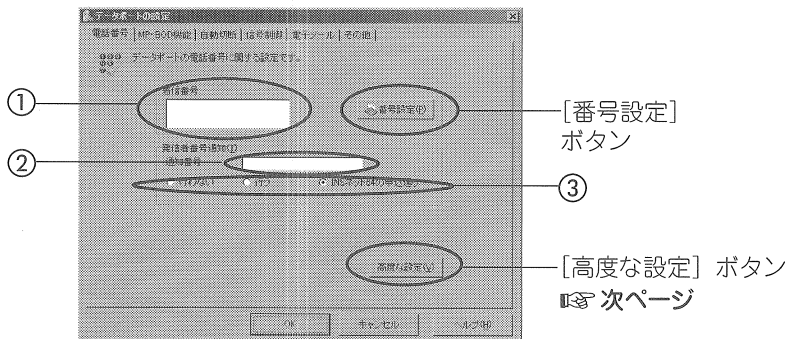
● データポートの設定

データポートがインターネットなどで通信中のときは、通信を終了してから設定をおこなってください。



※初期表示は電話番号タグ画面です。

● 電話番号に関する設定



① 着信番号 (初期値：設定なし)

データポートで着信させる電話番号を設定します。設定は、**番号設定** ボタンをクリックして表示された【電話番号テーブル】画面でおこないます。☞ 5-5, 5-6ページ

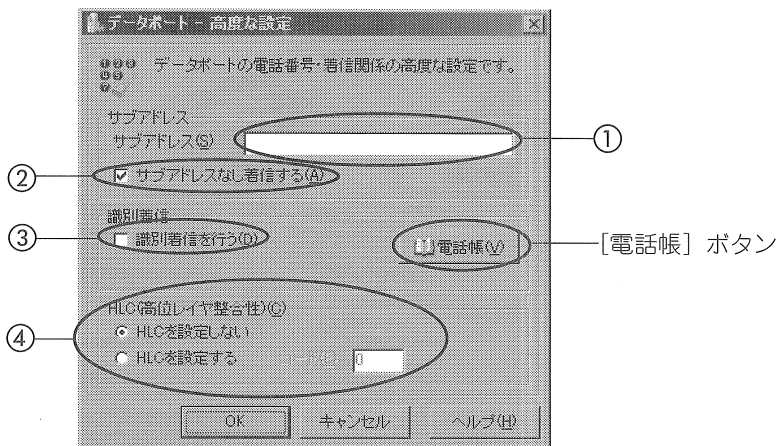
② 通知番号 (初期値：設定なし)

【電話番号テーブル】画面で設定した通知番号が表示されます。

③ 発信者番号通知 (初期値：INS ネット 64 の申込通り)

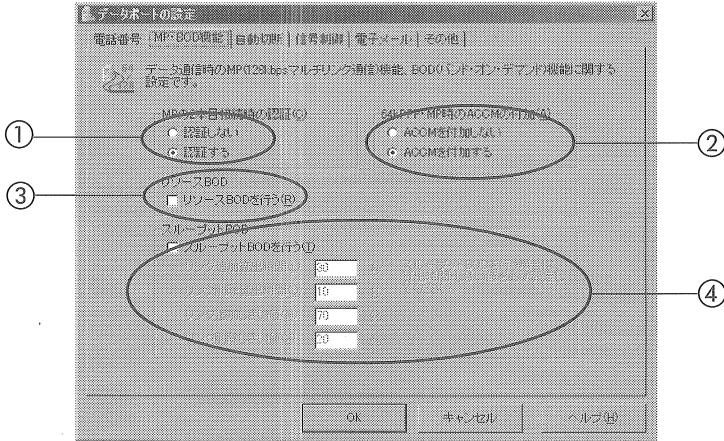
契約者回線番号またはダイヤルイン番号を相手に通知するかどうかを設定します。

● データポートの高度な設定



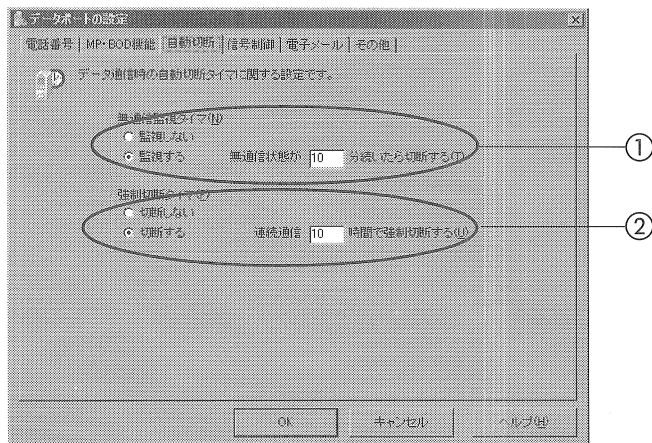
- ① サブアドレス (初期値：設定なし)
サブアドレスを入力します。
- ② サブアドレスなし着信する (初期値：サブアドレスなし着信する)
サブアドレスがない着信を受けるかどうかを設定します。
 (チェックマークをつける) で受ける設定になります。
- ③ 識別着信 (初期値：識別をしない)
識別着信するかしないかを設定します。
「識別着信する」に設定した場合は、**電話帳** ボタンをクリックして識別着信する電話番号も設定します。☎5-12 ページ
- ④ HLC (高位レイヤ整合性) (初期値：HLCを設定しない)
HLC (高位レイヤ整合性) の設定をします。

● MP・BOD 機能の設定



- ① MP の 2 本目接続時の認証（初期値：認証する）
「認証する」、「認証しない」の設定をします。
- ② 64kPPP、MP 時の ACCM の付加（初期値：ACCM を付加する）
「ACCM を付加しない」、「ACCM を付加する」の設定をします。
- ③ リソース BOD（初期値：行わない）
リソース BOD の設定をします。
- ④ スループット BOD（初期値：行わない）
スループット BOD の設定をします。
スループット BOD を使用するとき、算出時間、しきい値のパラメータの入力もおこないます。

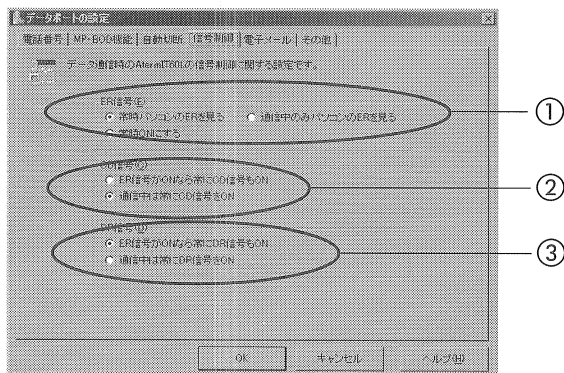
● 自動切断タイマに関する設定



- ① 無通信監視タイマ（初期値：監視する、10分）
無通信監視タイマの設定をします。
「監視する」に設定したときは、その時間も入力します。
- ② 強制切断タイマ（初期値：切断する、10時間）
強制切断タイマの設定をします。
「切断する」に設定したときは、その時間も入力します。

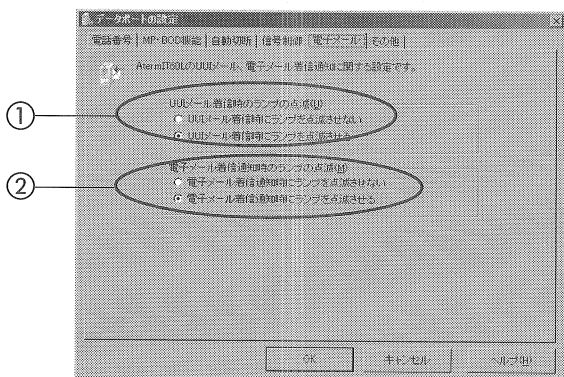
● 信号線に関する設定

通信ソフトウェアで設定しますので特に設定する必要はありません。
詳しくは **ヘルプ** ボタンをクリックしてヘルプをご覧ください。



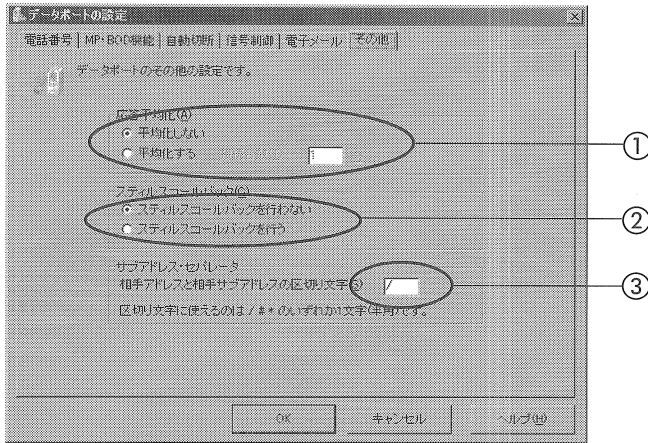
- ① ER 信号（初期値：常時パソコンの ER を見る）
ER 信号の設定をします。
- ② CD 信号（初期値：通信中は常に CD 信号を ON）
CD 信号の設定をします。
- ③ DR 信号（初期値：ER 信号が ON なら常に DR 信号も ON）
DR 信号の設定をします。

● 電子メールに関する設定



- ① UIE メール着信時のランプの点滅（初期値：ランプを点滅させる）
UIE メール着信時のランプを点滅させるかどうかを設定します。
- ② 電子メール着信通知時のランプの点滅（初期値：ランプを点滅させる）
電子メール着信通知時にランプを点滅させるかどうかを設定します。

● その他の機能に関する設定



① 応答平均化（初期値：平均化しない）

応答平均化の設定をします。

「平均化する」を選択したときは、1本のINS ネット64に接続しているAtermの台数も入力します。

② スティルスコールバック（初期値：スティルスコールバックを行わない）

スティルスコールバックをおこなうかおこなわないかを設定します。

③ サブアドレス・セパレータ（初期値：/）

発信する時にサブアドレスを使う場合、発信アドレスとサブアドレスを区切るサブアドレス・セパレータを設定します。

／、#、*が設定できます。

● バージョン情報を見る

らくらくユーティリティとAtermのファームウェアのバージョン情報を見ることができます。

ステップ1

[IT60Lらくらくユーティリティ]画面の **バージョン** ボタンをクリックします



[OK] ボタン

(ファームウェアのバージョンの数値は一例です)

ステップ2

見終わったら **OK** ボタンをクリックします



Aterm前面のボタンを操作してファームウェアのバージョンを確認することもできます。☞ 1-16 ページ

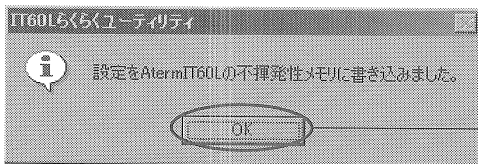
● らくらくユーティリティを終了する

ステップ1

[IT60L らくらくユーティリティ] 画面の **閉じる** ボタンをクリックします

ステップ2

[設定を AtermIT60L の不揮発性メモリに書き込みました] が表示されるので **OK** ボタンをクリックします



[OK] ボタン

Aterm の不揮発性メモリに設定内容が登録されます。

Aterm の電源を切っても設定した内容が残ります。

● 初期化する

注意!

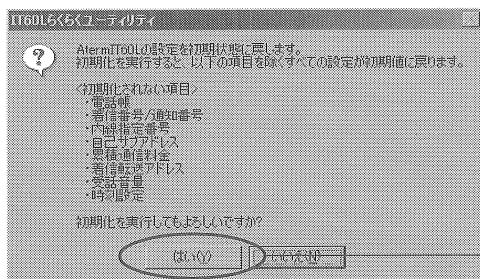
初期化をおこなうと、電話帳、着信番号、通知番号、内線指定番号、自己サブアドレス、着信転送アドレス、累積通信料金、受話音量、カレンダーを除くすべての設定が初期値に戻ります。

ステップ1

[IT60Lらくらくユーティリティ] 画面の **初期化** ボタンをクリックします

ステップ2

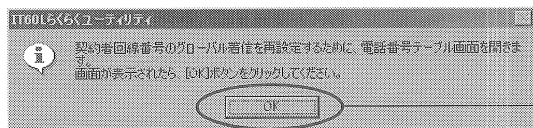
はい ボタンをクリックします



—[はい] ボタン

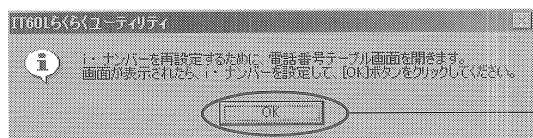
ステップ3

初期化が終了すると次の画面が表示されるので **OK** ボタンをクリックします



—[OK] ボタン

i・ナンバーを設定している場合は、次の画面が表示されるので **OK** ボタンをクリックします



—[OK] ボタン

電話番号テーブルが表示されます。

ステップ4

設定してから **OK** ボタンをクリックします

i・ナンバーを設定している場合は、i・ナンバーの設定をしてから **OK** ボタンをクリックします

5-2. パソコンで設定する (Macintosh での設定)

ここでは「IT60L らくらくユーティリティ」を使った設定のしかたを説明します。

らくらくユーティリティの起動のしかた

- ① [IT60L ユーティリティ] フォルダ中の [IT60L らくらくユーティリティ] アイコンをダブルクリックします
- ② らくらくユーティリティが起動し、[メニュー (簡易設定)] 画面が表示されます

各画面の設定のしかた

- 設定する機能を選択し、設定します (●や☒をチェックする)
- 文字入力は入力欄の をクリックして、キーボード入力します
- 設定内容を登録します (登録 ボタンをクリックして登録完了)

注意!

- アナログポート着信中は、登録 ボタンをクリックしないでください。クリックすると呼出音が途切れたりすることがあります。
- 着信中はアナログポートの設定内容を登録することはできません。

設定が終わったら

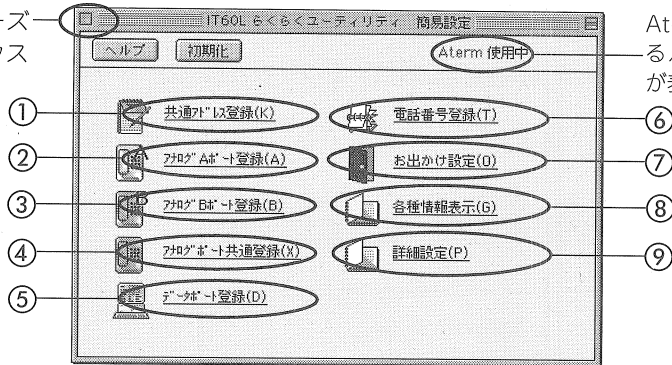
- らくらくユーティリティ終了時は必ず終了画面で はい ボタンをクリックしてAtermに登録します

これでAtermの電源を切っても設定値が消えません。

※困った時は ヘルプ ボタンをクリックして、ヘルプを参照してください。

<簡易設定画面>

クローズ
ボックス



Atermが接続されているパソコンのポート名が表示されます。

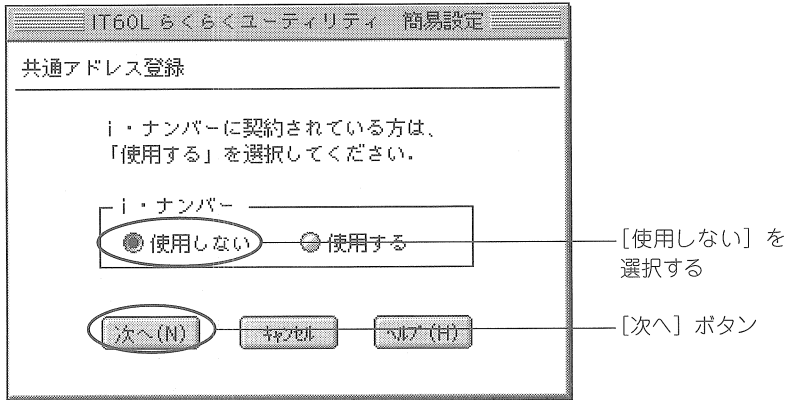
- ① ——— 契約者回線番号のグローバル着信選択、通知 / 着信番号、内線指定番号
- ②③ ——— アナログポート接続機器選択、キャッチホン、発信者番号通知設定、番号設定
- ④ ——— 三者通話、着信転送、識別着信転送、通信中転送、内線通話・転送、優先着信ポート指定、マイプライベート着信、【#】発信
- ⑤ ——— 発信者番号通知設定、番号設定
- ⑥ ——— 短縮ダイヤル番号、マイプライベート着信番号、疑似識別着信番号、疑似なりわけ、迷惑電話防止番号
- ⑦ ——— でかけるモード(おやすみ、電話着信転送、ボイスワープ転送、フラッシュ)
- ⑧ ——— 回線状態・信号線・切断理由表示、通話料金表示、着信情報表示、発信番号表示
- ⑨ ———
 - アナログポート 識別着信、識別リングング、サブアドレス無し着信選択、HLC設定、ダイヤル桁間タイマ設定、フッキング検出タイマ設定、リバースパルス送出、情報通知サービスの設定、停電モードの設定
 - データポート 識別着信、サブアドレス無し着信選択、HLC設定、スティルスコールバック、応答平均化、無通信監視タイマ、強制切断タイマ
 - BOD機能 リソースBOD、スループットBOD、スループットBODパラメータ
 - データポート信号制御 ER信号、CD信号、DR信号
 - 各種情報表示 回線状態・信号線・切断理由表示、通話料金表示、着信情報表示、発信者番号表示

簡易設定

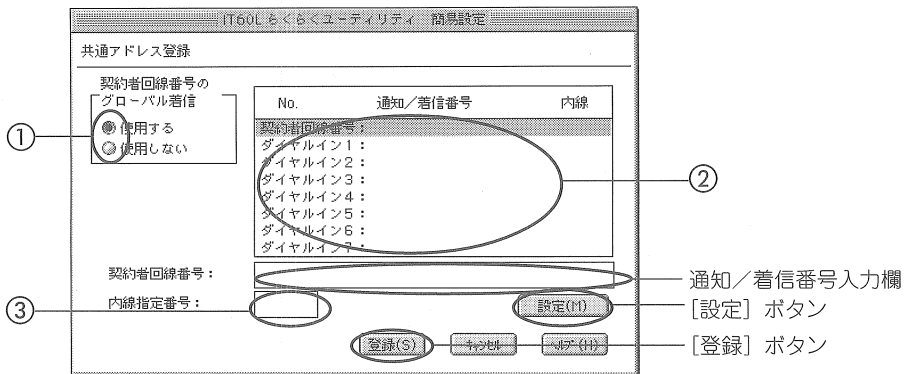
● 共通アドレスの登録(契約者回線番号/ダイヤルイン番号の設定)

ここでは各ポートに共通する各種アドレス(電話番号)の登録をおこないます。
次の画面で [i・ナンバー] の [使用しない] をクリックし、[次へ] ボタンをクリックします。

[i・ナンバーを使用する] 場合は、次ページの [i・ナンバーを設定する] を参照してください。



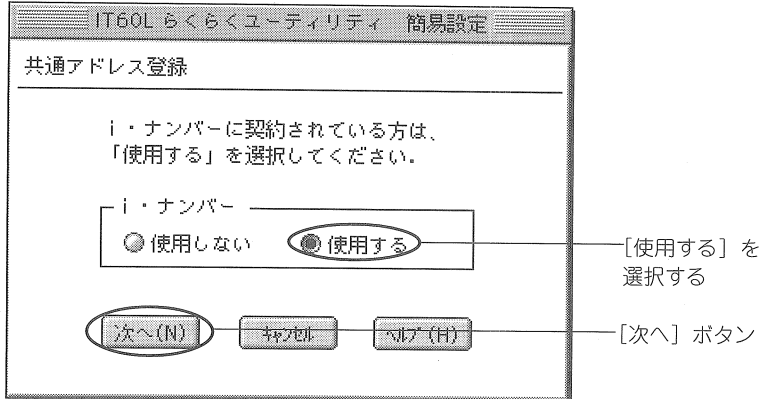
[共通アドレス登録] 画面が表示されます。



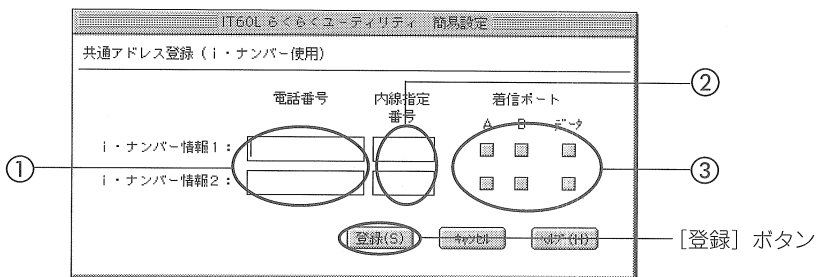
- ① 契約者回線番号のグローバル着信選択 (初期値: 使用する)
契約者回線番号のグローバル着信の設定を契約と合わせて設定します。
- ② 通知/着信番号
契約している契約者回線番号およびダイヤルイン番号の通知/着信番号を入力します。「通知/着信番号」を登録する場合、任意の番号を選んでクリックしてから通知/着信番号入力欄に電話番号を入力します。
- ③ 内線指定番号
アナログ・ダイヤルインサービスを使用する場合、内線番号を入力します。

● 共通アドレスの登録 (i・ナンバーの設定)

次の画面で [i・ナンバー] の [使用する] をクリックし、**次へ** ボタンをクリックします。



[共通アドレス登録] 画面が表示されます。



① 電話番号 (初期値：設定なし)

i・ナンバー情報欄に電話番号を入力します。

② 内線指定番号 (初期値：設定なし)

アナログ・ダイヤルインを使用するときを設定します。

0～9までの数字を使って4桁の任意の番号を設定できます。

③ 着信ポート (初期値：設定なし)

かかってきたi・ナンバーでどのポートを呼び出すかを設定します。

呼び出すポートの□をクリックして設定します。

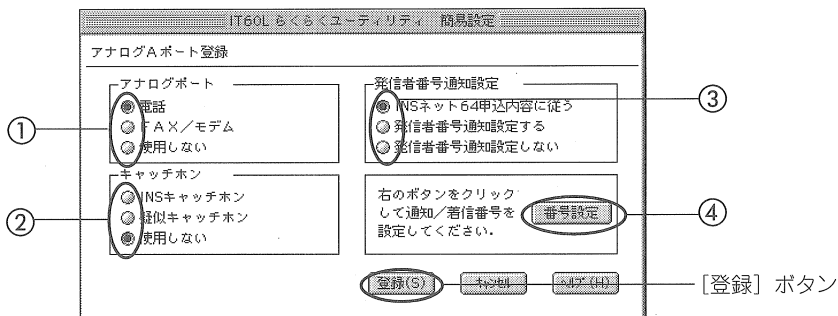
注意!

電話番号の設定を正しくおこなわないと、相手に正しい電話番号が伝わらなかったり、INS ネット 64 の各種サービスが利用できない場合があります。

● アナログポートの設定

ここでは、アナログAポートの登録で説明します。

電話中などで使用中のときは、電話を切るなどしてから設定をおこなってください。



① アナログポート（初期値：電話）

アナログポートに接続されている通信機器の種類を設定します。

② キャッチホン（初期値：使用しない）

キャッチホンの種類を設定します。

③ 発信者番号通知設定（初期値：INS ネット 64 申込内容に従う）

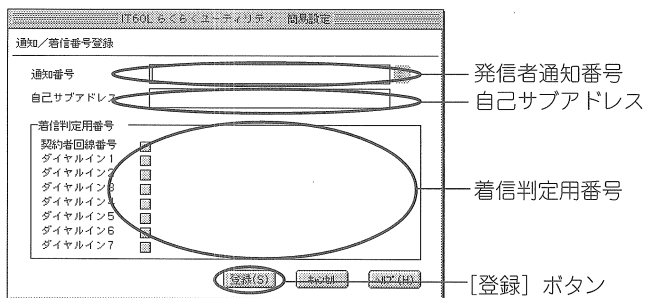
契約者回線番号またはダイヤルイン番号を相手に通知するかどうかを設定します。

④ 番号設定

アナログポートの発信者通知番号と着信判定用番号を選択します。

番号設定 ボタンをクリックします。

[契約者回線番号またはダイヤルイン番号の場合]

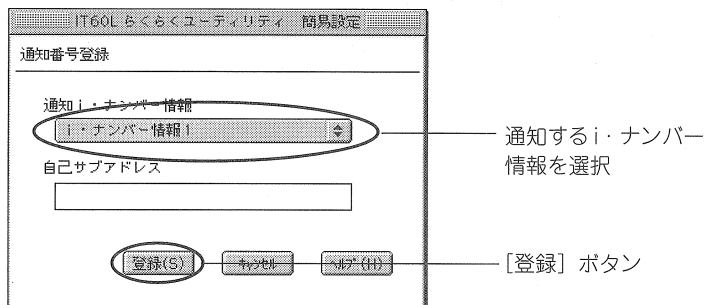


[契約者回線番号またはダイヤルイン番号の場合] 通知番号は、契約した電話番号の中から発信時に通知する電話番号を選択します。

着信判定用番号は、共通アドレス登録で登録した電話番号の□をクリックして にして選択します。最大8個まで選択可能です。

登録 ボタンをクリックします。

[i・ナンバーの場合]

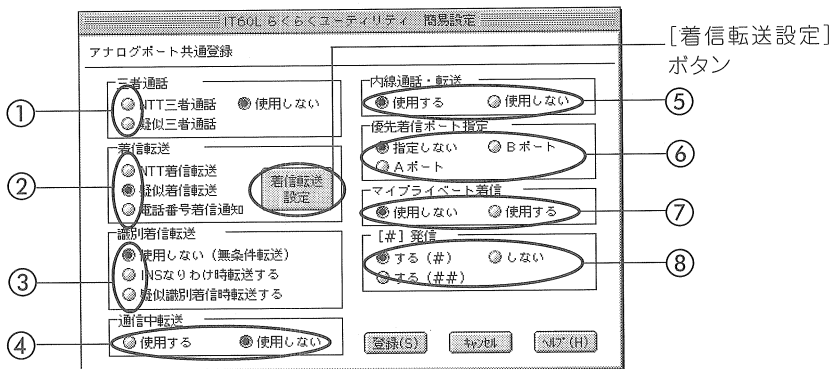


相手に通知する電話番号を i・ナンバー情報 1, 2 から選択します。

自己サブアドレスを使用する場合は入力します（通常は入力しません）。

登録 ボタンをクリックします。

●アナログポート共通登録

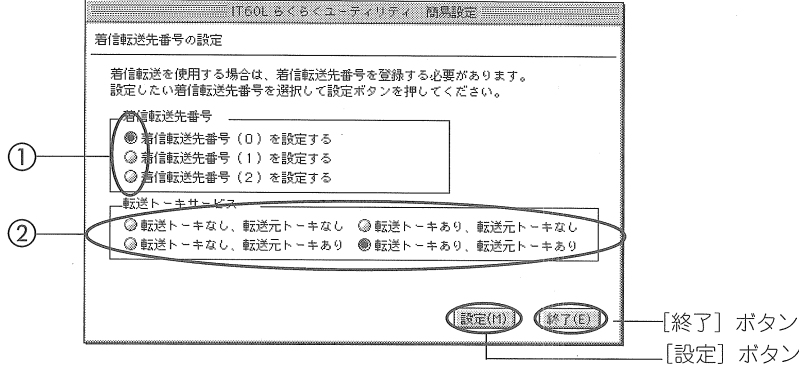


- ① 三者通話 (初期値: 使用しない)
三者通話の設定をします。
- ② 着信転送 (初期値: 疑似着信転送)
着信転送の設定をします。
[着信転送設定] ボタンをクリックして「着信転送先番号」と「転送トーク」も設定します。☞次ページ
- ③ 識別着信転送 (初期値: 使用しない)
識別着信転送の設定をします。
- ④ 通信中転送 (初期値: 使用しない)
通話中転送の設定をします。
- ⑤ 内線通話・転送 (初期値: 使用する)
内線通話・転送の設定をします。
- ⑥ 優先着信ポート指定 (初期値: 指定しない)
優先着信ポートの設定をします。
- ⑦ マイプライベート着信 (初期値: 使用しない)
マイプライベート着信の設定をします。
- ⑧ [#] 発信 (初期値: する(#))
[#] を押すとすぐに発信するか、しないかを設定します。
[#] 発信する場合は、[#] または [#] [#] (# を2回押す) で発信するを選択します。

<着信転送>

[契約者回線番号またはダイヤルイン番号の場合]

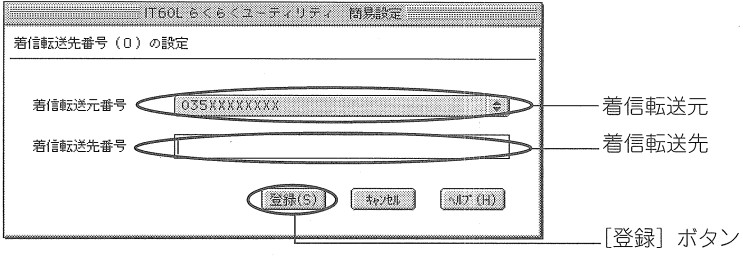
「着信転送」の「着信転送設定」ボタンをクリックすると「着信転送先番号の設定」画面が表示されます。



① 着信転送先番号

着信転送をおこなう着信転送先番号を選択し、転送トーカーサービスを選択してから「設定」ボタンをクリックします。

着信転送先番号の設定画面が表示されます。



着信転送元番号をプルダウンメニューから選択し、着信転送先番号（電話番号）を入力してから、「登録」ボタンをクリックします。

※着信転送元のプルダウンメニューには設定済みの着信番号が表示されます。

画面は着信転送先番号(0)の例です。

② 転送トーカーサービス（初期値：転送トーカーあり、転送元トーカーあり）

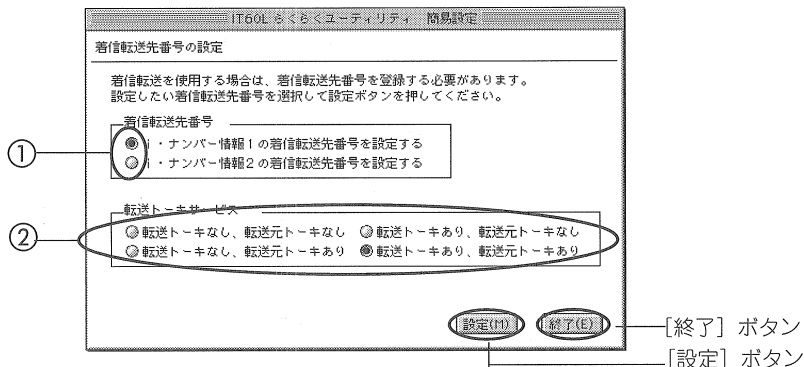
NTT着信転送時に転送トーカーと転送元トーカーを流すかどうかを設定します。電話番号ごとに設定することはできません。疑似着信転送では、転送トーカーなしに固定されます。

アナログポート共通登録で電話番号着信通知に設定した場合は、「BIGLOBE-ID」欄が表示されますので、お客様が遊遊メールを契約しているBIGLOBE-IDを入力します。

<着信転送>

[i・ナンバーの場合]

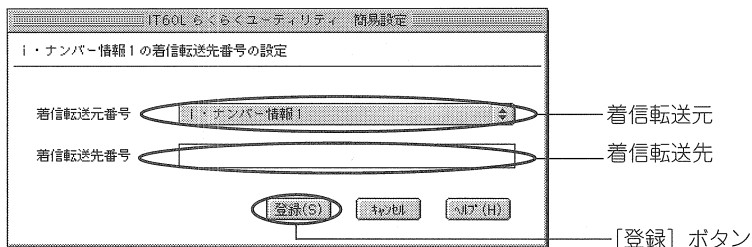
「着信転送」の「着信転送設定」ボタンをクリックすると「着信転送先番号の設定」画面が表示されます。



① 着信転送先番号

着信転送をおこなうi・ナンバー情報を選択し、転送トーカーサービスを選択してから、「設定」ボタンをクリックします。

着信転送先番号の設定画面が表示されます。



着信転送元番号をプルダウンメニューから選択し、着信転送先番号（電話番号）を入力してから、「登録」ボタンをクリックします。

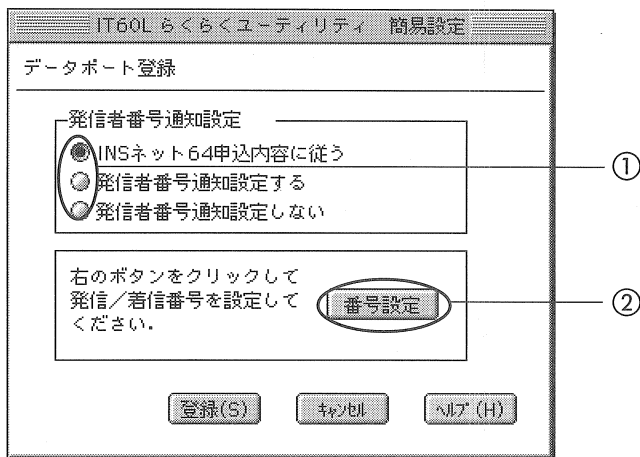
※ 着信転送元のプルダウンメニューには設定済みのi・ナンバー情報が表示されます。画面はi・ナンバー情報1の例です。

② 転送トーカーサービス（初期値：転送トーカーあり、転送元トーカーあり）

NTT 着信転送時に転送トーカーと転送元トーカーを流すかどうかを設定します。電話番号ごとに設定することはできません。また疑似着信転送では、転送トーカーなしに固定されます。

アナログポート共通登録で電話番号着信通知に設定した場合は、「BIGLOBE-ID」欄が表示されますので、お客様が遊遊メールを契約しているBIGLOBE-IDを入力します。

●データポート登録



① 発信者番号通知設定（初期値：INS ネット 64 申込内容に従う）

契約者回線番号またはダイヤルイン番号を相手に通知するかどうかを設定します。

② 番号設定（初期値：設定なし）

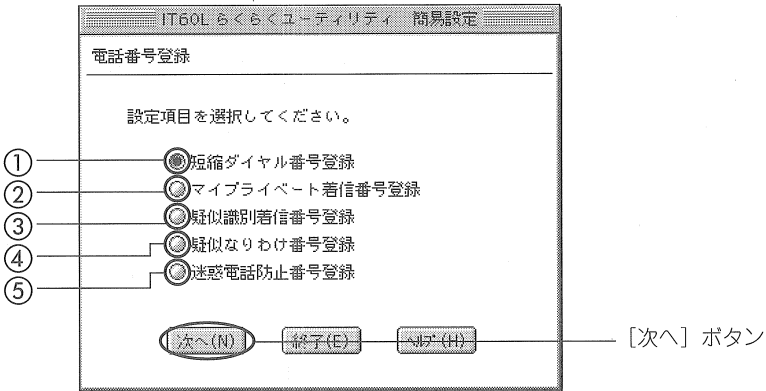
通知する番号と着信する番号を設定します。

発信者通知番号を選択し、必要であれば、自己サブアドレスを入力します。

着信判定用番号は、共通アドレス登録で登録したi・ナンバーまたは電話番号から選択します。

● 電話番号の登録

ここでは電話の発/着信機能を使う上で事前におこなっておく必要のある電話番号の登録について説明します。



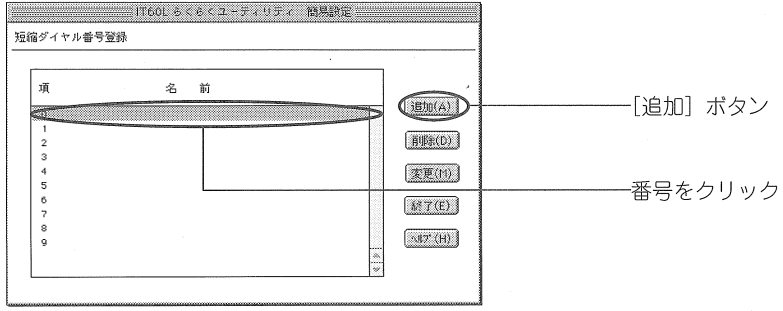
- ① 短縮ダイヤル番号登録（最大 10 件）
短縮ダイヤル番号の設定をします。
- ② マイプライベート着信番号登録（最大 30 件）
マイプライベート着信番号の設定をします。
相手の電話番号の他に着信させるポートも設定します。
- ③ 疑似識別着信番号登録（最大 30 件）
疑似識別着信番号の設定をします。
- ④ 疑似なりわけ番号登録（最大 30 件）
疑似なりわけ番号の設定をします。
- ⑤ 迷惑電話防止番号登録（最大 20 件）
迷惑電話防止番号の設定をします。

設定項目を選択したら **次へ** ボタンをクリックします。

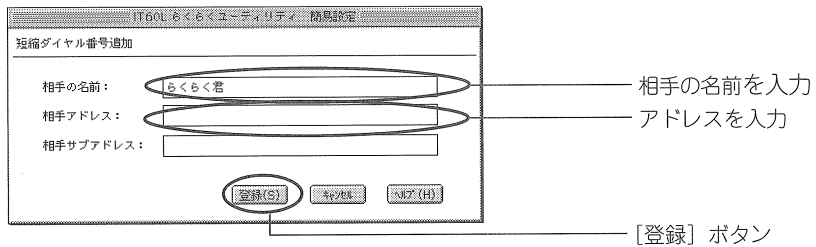
次ページに具体例として短縮ダイヤル番号登録の手順を説明しています。
他の電話番号登録も同様の手順でおこなえます。

<短縮ダイヤル番号登録>

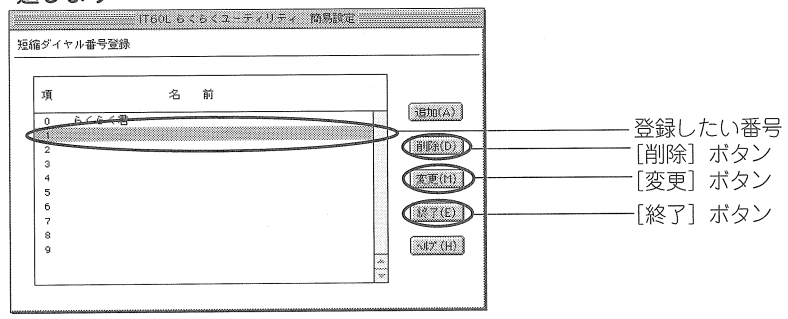
ステップ1 登録したい番号と**追加** ボタンをクリックします



ステップ2 相手の名前欄に名前を、相手アドレス欄に電話番号を入力し、**登録** ボタンをクリックします



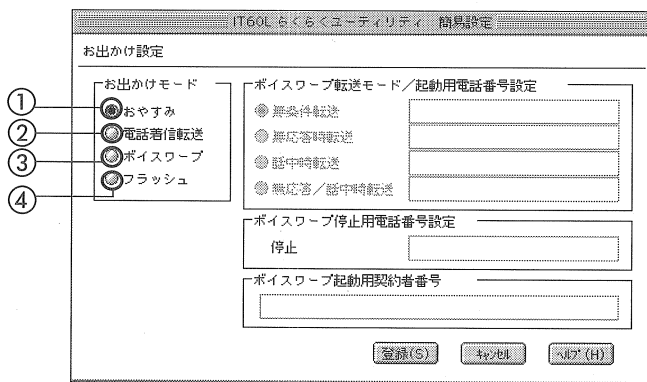
ステップ3 続けて登録するときは、登録したい番号をクリックし、ステップ1~2をくり返します



- 登録番号を変更したい場合
ステップ1で **追加** ボタンの代わりに **変更** ボタンをクリックします。ステップ2の操作は同じです。
- 登録番号を削除したい場合
ステップ1で **追加** ボタンの代わりに **削除** ボタンをクリックします。ステップ2の操作は必要ありません。

● お出かけ設定

ここで設定した内容は、Aterm 本体のでかけるボタンを押すとそのモードに入ります。



① おやすみモード

おやすみモードを選びます。

② 電話着信転送モード

電話着信転送モード（NTT 着信転送、疑似着信転送、電話番号着信通知（遊遊メール））を選びます。アナログポート共通登録の着信転送で選んだ転送方式になります。

③ ボイスワープ転送モード

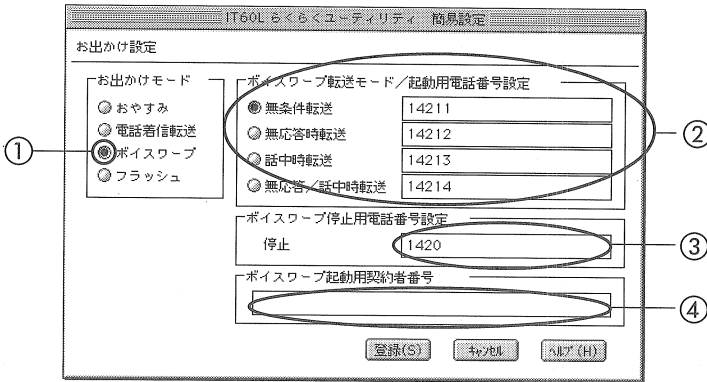
ボイスワープを選びます。

次ページも併せて設定します。

④ フラッシュモード

フラッシュモードを選びます。

<ボイスワープ転送モード>

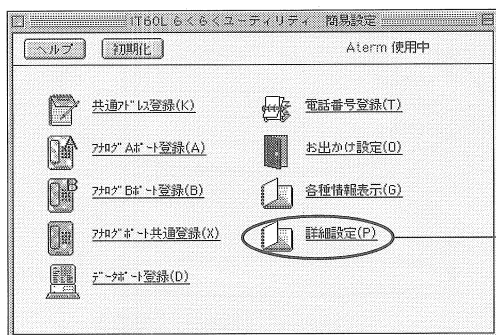


- ① ボイスワープをクリックします。
- ② ボイスワープの転送モードを選択します。起動用電話番号はINS ネット64の付加サービス「INS ボイスワープ」で変更された場合に、新たに入力します。
- ③ ボイスワープ停止用電話番号はINS ネット64の付加サービス「INS ボイスワープ」で変更された場合に、新たに入力します。
- ④ ボイスワープを契約した電話番号を入力します。

登録 ボタンをクリックします。

詳細設定

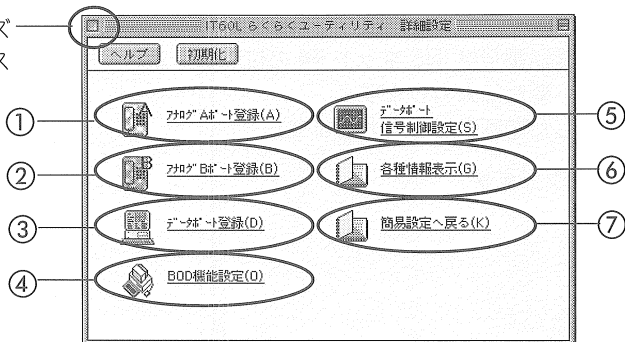
[簡易設定] 画面で [詳細設定] をクリックします



[詳細設定] を
クリック

< 詳細設定画面 >

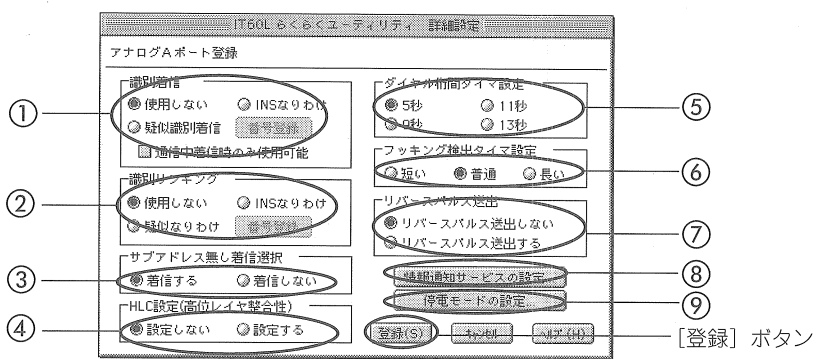
クローズ
ボックス



- ①② —— 識別着信、識別リング、サブアドレス無し着信選択、HLC設定、ダイヤル桁間タイマ設定、フッキング検出タイマ設定、リバースパルス送出、情報通知サービスの設定、停電モードの設定
- ③ —— 識別着信、サブアドレス無し着信選択、HLC設定、スティルスコールバック、応答平均化、無通信監視タイマ、強制切断タイマ
- ④ —— リソースBOD、スループットBOD、スループットBODパラメータ
- ⑤ —— ER信号、CD信号、DR信号
- ⑥ —— 「4さまざまな情報を見る」をご覧ください。☞4-1ページ
- ⑦ —— 簡易設定画面へ戻ります

● アナログポートの登録

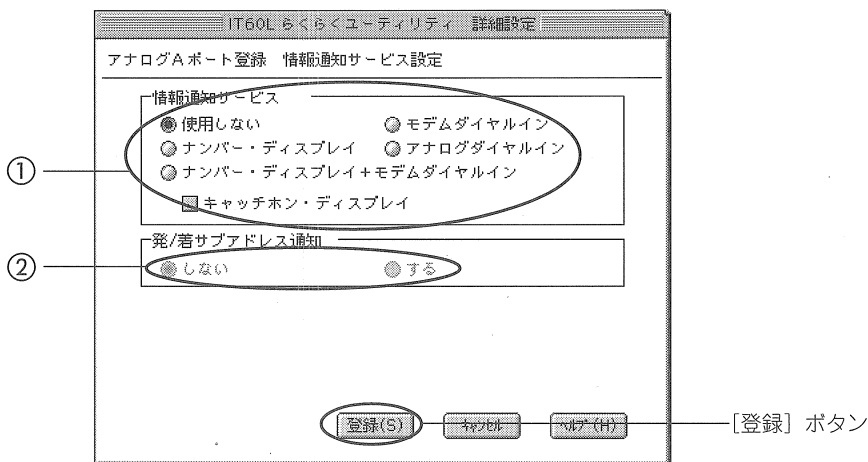
アナログAポートの登録で説明します。



- ① 識別着信 (初期値: 使用しない)
 識別着信をするかしないかその方法を設定します。
 疑似識別着信を選択したときは、「番号登録」ボタンをクリックして、表示された画面で相手電話番号を登録します。
 また、識別着信転送をおこなうときは、「通信中着信時のみ使用可能」を☑します。
- ② 識別リングング (初期値: 使用しない)
 識別リングングをするかしないかその方法を設定します。
- ③ サブアドレス無し着信選択 (初期値: 着信する)
 サブアドレスがない着信を受けるかどうかを設定します。
- ④ HLC設定 (高位レイヤ整合性) (初期値: 設定しない)
 HLC (高位レイヤ整合性) の設定をします。
- ⑤ ダイヤル桁間タイマ設定 (初期値: 5秒)
 ダイヤル桁間タイマを設定します。
 「5秒」、「9秒」、「11秒」、「13秒」から選択します。
- ⑥ フッキング検出タイマ設定 (初期値: 普通)
 フッキング検出タイマを設定します。
- ⑦ リバースパルス送付 (初期値: 送付しない)
 リバースパルスを送付するかしないかを設定します。
 リバースパルスの検出によって通話を終了するしくみを持つ電話機対応の設定です。
 留守番電話などで通話が切断されないときは「リバースパルス送付する」に設定します。
- ⑧ 情報通知サービスの設定
 着信した電話番号をアナログポートに接続した電話機に通知する際のサービスの種類を設定します。☞次ページ
- ⑨ 停電モードの設定 ☞ 5-45 ページ
 停電時に着信するかしないかを設定します。

<情報通知サービスの設定>

情報通知サービスの設定 ボタンをクリックすると表示されます。



① 情報通知サービス (初期値：使用しない)

着信した電話の番号をアナログポートに接続した電話機に通知する際のサービスを5つの項目から選択できます。

「ナンバーディスプレイ」：ナンバーディスプレイ対応電話機を使用する場合に選択します。

「ナンバーディスプレイ+モデムダイヤルイン」：

ナンバー・ディスプレイとモデム・ダイヤルインを同時に使用する場合に選択します。

「モデムダイヤルイン」：モデム・ダイヤルインを使用する場合に選択します。

「アナログダイヤルイン」：アナログ・ダイヤルインを使用する場合に選択します。

「使用しない」：何も情報通知がされません。

「キャッチホン・ディスプレイ」：

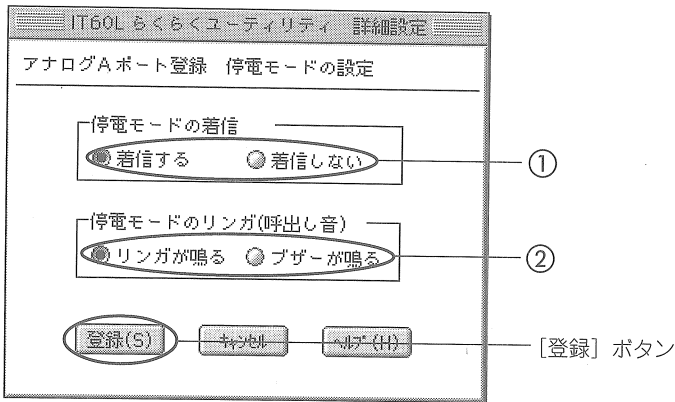
キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合は「ナンバー・ディスプレイ」または「ナンバー・ディスプレイ+モデム・ダイヤルイン」のどちらかを選択し、あわせて「キャッチホン・ディスプレイ」を にします。

② 発/着サブアドレス通知 (初期値：しない)

「情報通知サービス」で「ナンバー・ディスプレイ」、「ナンバー・ディスプレイ+モデム・ダイヤルイン」、「モデム・ダイヤルイン」のいずれかを選択した場合でサブアドレスも通知する場合に、発/着信時にサブアドレス通知をするかしないかを設定します。

<停電モードの設定> (アナログ A ポート)

停電モードの設定 ボタンをクリックすると表示されます。



① 停電モードの着信 (初期値：着信する)

停電時に着信するかどうかを設定します。

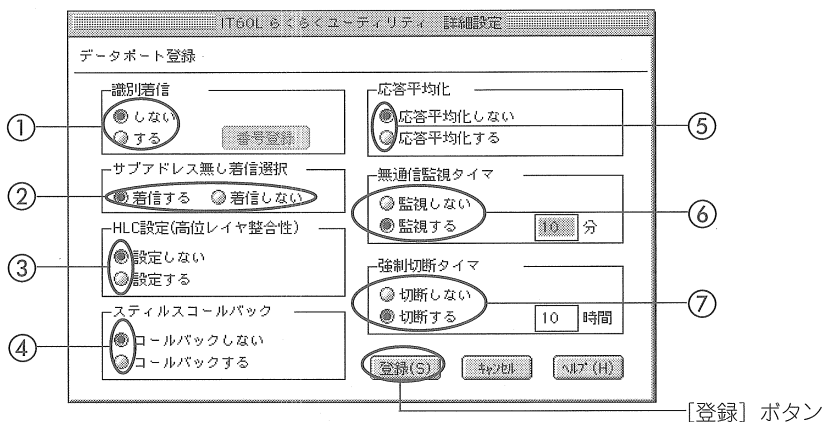
② 停電モードのリング (呼出し音) (初期値：リングが鳴る)

① 停電モードの着信を「着信する」に設定したときに、リングが鳴るかブザーが鳴るかを設定します。「ブザーが鳴る」に設定した場合、停電モード時に着信があるとAterm内蔵のブザーが鳴ります。

ただし「アナログ・ダイヤルイン」に設定してある場合は、ブザーは鳴らずにリングが鳴ります。

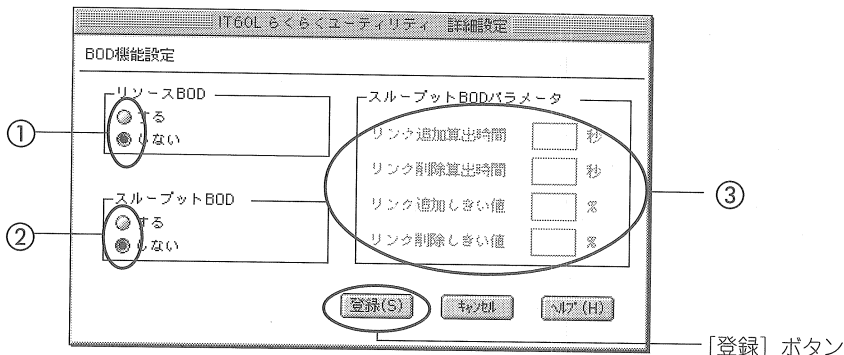
ナンバー・ディスプレイやモデム・ダイヤルインをご利用の場合は、停電時の着信音を「リング」にすることを推奨します。「ブザー」に設定されていると発信者番号や着信番号が正常に表示されない場合があります。

● データポート登録



- ① 識別着信 (初期値：しない)
識別着信するかどうかを設定します。
識別着信する場合は、**番号登録** ボタンをクリックして表示された画面で相手の電話番号を登録してください。
- ② サブアドレス無し着信選択 (初期値：着信する)
サブアドレスがない着信を受けるかどうかを設定します。
- ③ HLC 設定 (高位レイヤ整合性) (初期値：設定しない)
HLC (高位レイヤ整合性) の設定をします。
- ④ スタイルスコールバック (初期値：コールバックしない)
スタイルスコールバックの設定をします。
- ⑤ 応答平均化 (初期値：応答平均化しない)
応答平均化の設定をします。
- ⑥ 無通信監視タイマ (初期値：監視する、10分)
無通信監視タイマの設定をします。
「監視する」に設定したときは、その時間も入力します。
- ⑦ 強制切断タイマ (初期値：切断する、10時間)
強制切断タイマの設定をします。
「切断する」に設定したときは、その時間も入力します。

● BOD (Bandwidth On Demand) 機能



① リソース BOD (初期値：しない)

リソース BOD の設定をします。

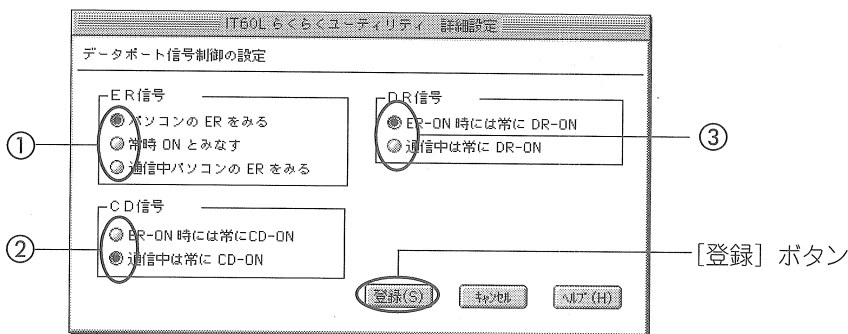
② スループット BOD (初期値：しない)

スループット BOD の設定をします。

③ スループット BOD パラメータ

② スループット BOD の設定を「する」にしたときに、算出時間としきい値の設定をします。

● データポート信号制御の設定



① ER 信号 (初期値：パソコンのERをみる)

ER 信号の設定をします。

② CD 信号 (初期値：通信中は常に CD-ON)

CD 信号の設定をします。

③ DR 信号 (初期値：ER-ON 時には常に DR-ON)

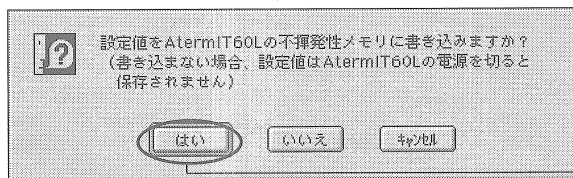
DR 信号の設定をします。

らくらくユーティリティを終了する

ステップ1 [詳細設定] 画面を開いている場合は、「クローズボックス」をクリックします

ステップ2 [簡易設定] 画面の「クローズボックス」をクリックします

ステップ3 [設定値を AtermIT60L の不揮発性メモリに書き込みますか?]が表示されるので、**はい** ボタンをクリックします



Aterm の不揮発性メモリに設定内容が登録されます。
Aterm の電源を切っても設定した内容が残ります。

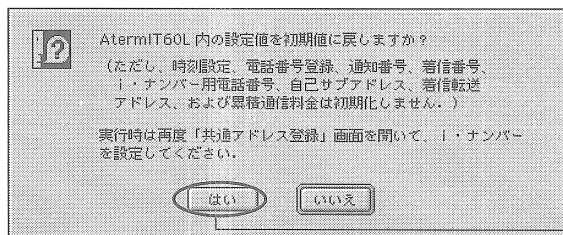
初期設定値に戻す

注意!

初期化をおこなうと、電話帳、通知番号、着信番号、内線指定番号、自己サブアドレス、着信転送アドレス、累積通信料金、受話音量設定、カレンダーを除くすべての設定が初期値に戻ります。

ステップ1 [IT60L らくらくユーティリティ簡易設定] 画面の **初期化** ボタンをクリックすると次の画面が表示されます

ステップ2 **はい** ボタンをクリックすると初期化されます



5-3. 電話機で設定する

パソコンが使える場合は、ご使用の環境に応じて5-1章や5-2章で設定することをおすすめします。

電話機からの設定では、Atermの液晶ディスプレイを見ながら設定します。電話機はAtermの近くに置いて操作してください。また、設定をおこなう電話機以外は、すべて受話器を置いた状態にしてください。

※ 電話機独自の機能で既に【*】【*】【1】を使用しているときは、電話機で設定できません。【*】【*】【1】が使用できるかどうかは、電話機メーカーにお問い合わせください。

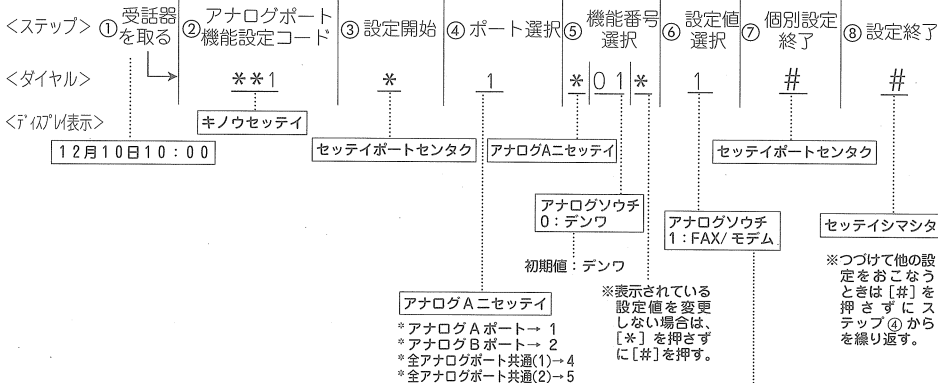
設定のしかた

電話機で各種機能の設定をするためには、下記のような合計12桁（異なる設定もあります）のダイヤル操作をおこなってください。

利用したい機能の設定値は次ページ以降（☞5-50～5-52）の設定項目一覧を参照してください。

●ダイヤル操作例

「アナログAポートをアナログポート接続機器選択でFAX/モデムに設定する」場合



- ・着信転送
 - ・着信番号
 - ・マイプライベート着信
 - ・i・ナンバー情報の電話番号
- の場合<ステップ>④がこの操作になります。

【着信転送から「着信転送」を選択し、転送トーン「ありなし」に設定する場合】

（設定値と追加設定値の間に【#】【*】を入力してください。ただし、追加設定値のない場合は設定値入力後ステップ⑦へ進んでください）

<ステップ> ⑥ 設定値・追加設定値選択

<ダイヤル> 1 # * 1

<ディスプレイ表示>

チャクシンテンソウ
1：NTT

テンソウトーキ
3：ハツアリ/サキアリ

テンソウトーキ
1：ハツアリ/サキナシ

点滅
テンソウトーキ
3：ハツアリ/サキアリ

点滅

つづけて他の設定もおこなう場合は

ステップ⑦「個別設定終了（1回目の#）」の後、ステップ④「ポート選択」から繰り返しておこなってください。

設定項目一覧

<個別アナログポート設定> アナログポート(A, B)毎に設定が必要な項目

機能	機能番号	設定内容	設定値
アナログポート接続機器選択	01	電話	0
		FAX / モデム	1
		なし	2
キャッチホン	02	使用しない	0
		INSキャッチホン	1
		疑似キャッチホン	2
識別着信	03	使用しない	0
		INSなりわけ識別着信	1
		疑似識別着信	2
		INSなりわけ識別着信 選択キャッチホン	3
		疑似識別着信 選択キャッチホン	4
HLC	04	使用しない	0
		使用する	1
		使用するが 着信判定はしない	2
グローバル着信	05	着信する	0
		着信しない	1
グループなし着信	06	着信する	0
		着信しない	1
ダイヤル桁間タイ	07	5秒	0
		9秒	1
		11秒	2
		13秒	3
フック検出タイ	08	30ms - 1000ms	0
		300ms - 1000ms	1
		500ms - 1500ms	2
発信者番号通知	09	発信者番号を通知しない	0
		発信者番号を通知する	1
		INSネット64の 申込内容に従う	2
		しない	0
情報通知サービス※1	10	ナンバーディスプレイ	1
		モデム・ダイヤルイン	2
		アナログ・ダイヤルイン	3
		ナンバーディスプレイ & モデム・ダイヤルイン	4

機能	機能番号	設定内容	設定値
情報通知サービス 時のサブアドレス	11	つけない	0
		つける	1
	受話音量	12	小
中			1
大			2
リバーサル送受	13	送受しない	0
		送受する	1
通話中の 受話音量変更	14	変更しない (*# 無効)	0
		変更する (*# 有効)	1
識別リキック	15	使用しない	0
		INSなりわけ	1
		疑似なりわけ	2
キャッチホン・ ディスプレイ	18	使用しない	0
		使用する	1
着信番号 選択	91	8件の着信番号 から選択 選択マト: 0 次頁マト: 1 選択番号確認: 2 次番号参照: 3 前番号参照: 4	
相手に通知する 電話番号 (ダイヤル インサービスの場合)	92	32桁まで (0-9のみ使用)	0-9
自己グループ	93	19桁まで (0-9のみ使用)	0-9
着信するポート (i-ナンバーの場合)	94	i-ナンバー-情報1	1
		i-ナンバー-情報2	2
相手に通知する 電話番号 (i-ナンバーの場合)	95	i-ナンバー-情報1	1
		i-ナンバー-情報2	2

※1 アナログ・ダイヤルイン、モデム・ダイヤルイン使用時の内線指定番号の設定は、i-ナンバー使用時（[*] [9] [0] [1] [*] 参照 5-52 ページ）、i-ナンバー未使用時（[*] [8] [0] [*] 参照 5-51 ページ）でお願いします。

<全アナログポート共通設定> (1)

機能	機能番号	設定内容	設定値
停電時の着信 (Aポートのみ 着信可能)	22	着信ブザー	0
		着信リカ	1
		着信なし	3
優先着信 ポート ※1	23	優先なし	0
		Aを優先	1
		Bを優先	2
内線通話・ 内線転送	24	使用しない	0
		使用する	1
三者通話	25	使用しない	0
		三者通話	1
		疑似三者通話	2
通信中転送	26	使用しない	0
		使用する	1
選択着信転送	28	無条件転送	0
		INS なりわけ機能による転送	1
		識別着信転送	2
着信転送先 ポート	30	着信転送先(0) / i・ナンバー情報 1	0~9
	31	着信転送先(1) / i・ナンバー情報 2	0~9
	32	着信転送先(2)	0~9
電話番号転送先 メールポート	35	転送先メールポート(0)	英数字
	36	転送先メールポート(1)	記号
	37	転送先メールポート(2)	※3
着信転送元※2 ポート	40	着信転送先(0) / i・ナンバー情報 1	0~9
		着信転送先(1) / i・ナンバー情報 2	0~9
		着信転送先(2)	0~9

機能	機能番号	設定内容	設定値
着信転送元※2 ポート・ ポート	43	着信転送元 ポート(0)	0~9
	44	着信転送元 ポート(1)	0~9
	45	着信転送元 ポート(2)	0~9
短縮番号	50-59	ポート部分	0~9
	60-69	ポート部分	0~9
累積料金表示・ 初期化	70	累積料金 → 0円	1
発信時ポート 表示	71	表示しない	0
		表示する	1
マイプライベート着信 ※4	72	使用しない	0
		使用する	1
お出かけモード	73	おやすみモード	1
		電話着信転送モード	2
		ポート転送モード	3
		ラッシュモード	4
ポート転送 モード	74	無条件転送	1
		無応答時転送	2
		話中時転送	3
		無応答または話中 時転送	4
#発信	75	発信しない	0
		#で発信する	1
		# #で発信する	2
i・ナンバー	76	使用しない	0
		使用する	1

※1 「使用しない」に設定したアナログポートの選択はできません。

※2 併せて着信番号の設定もおこなってください。

※3 英数字記号は 3-70 ページの文字入力コマンド一覧表を参照して入力してください。

※4 「使用する」を設定した場合、次ページ<全アナログポート共通設定> (2) のマイプライベート着信用の電話帳も設定してください。

機能	機能番号	設定内容	設定値	追加機能	追加設定内容	追加設定値
着信転送	27	着信転送	1	転送トキ	なし・なし	0
					あり・なし	1
					なし・あり	2
		あり・あり	3			
		疑似着信転送	2			
		電話番号着信転送	3			
着信番号	80~87	電話番号	0~9	内線指定番号※5	内線指定番号	0~9

※5 はアナログ・ダイヤルイン使用時に設定します。(通常は設定する必要はありません)

<全アナログポート共通設定> (2)

機能	機能番号	設定内容	設定値	追加設定	設定値
マイプライベート 着信用の電話帳 ※6	100~129	アトリス(32桁)、ワトリス(19桁) P:ヒツヂ C:コウシヤクソウ O:ヒョウケンガイ	0~9 *01 *02 *03	着信 ポ-ト 選択	Aポ-ト 1
				Bポ-ト 2	
識別リダイヤル	200~229	アトリス(32桁)、ワトリス(19桁) ※7	0~9	/	
識別着信	300~329	アトリス(32桁)、ワトリス(19桁) ※7	0~9		
i・ナハ-情報 の電話番号	901	i・ナハ-情報1の電話番号 参照・設定	0~9	内線指定番号	0~9
	902	i・ナハ-情報2の電話番号 参照・設定	0~9		
ホ-スワ-プ設定	910	停止番号既存値参照・設定	0~9	/	
	911	無条件番号既存値参照・設定	0~9		
	912	無応答番号既存値参照・設定	0~9		
	913	話中番号既存値参照・設定	0~9		
	914	無応答+話中番号 既存値参照・設定	0~9		
	919	自己アトリス参照・設定	0~9		

※6 前ページの<全アナログポート共通設定> (1) のマイプライベート着信を「使用する」に設定した場合、合わせて設定してください。

※7 サブアドレスを使用するときは、アドレスを設定した後【#】【*】を押して、つづけてサブアドレスを設定します。通常はサブアドレスの設定をする必要はありません。

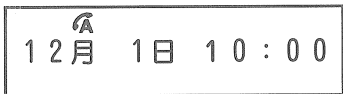
ご購入時の初期設定値に戻すときは

Aterm に設定した内容をすべて消去し、ご購入時の状態に戻します。


注意!

この操作をおこなうと、すでに設定された内容がすべて消去されます。また、本装置の全ての通信は切断されますので、通信中でないことを確認してから操作してください。

Aterm の液晶ディスプレイ



12月 1日 10:00



ショキカシマス



1月 1日 0:00

ステップ1

受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定
できます。

ステップ2

【*】【*】【9】【8】と押します

ステップ3

【*】を押します

設定内容が消去されます、液晶ディスプレ
イ表示は右図のようになります。

ステップ4

受話器を置きます

日付・時刻を設定する

液晶ディスプレイに表示する月、日、時、分の設定をおこないます。

ステップ1

受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定
できます。

Aterm の液晶ディスプレイ

1月 1日 0:00

ステップ2

【*】【*】【1】【*】と押します

セッテイポ ートセンタク

ステップ3

【9】を押します

ジ コク セッテイ

ステップ4

【*】を押します

00年01月01日
00:00

ステップ5

年、月、日、時、分の順に入力します

年：西暦の下2桁。

月・日・時・分：2桁。(時刻は24時間制)

例：2000年12月1日午後10時10分の場合

【0】【0】【1】【2】【0】【1】【2】【2】【1】【0】と入力します。

●【*】を押すと入力場所がスキップします。

ステップ6

【#】を押します

00年12月01日
22:10

ステップ7

受話器を置きます

● 入力の途中で受話器を置くと設定が
キャンセルされます。

5秒後 ↓
12月 1日 22:10



参考

カレンダーの代わりに機種名を表示させることができます。

受話器をあげて次の操作をします。

● 「カレンダー」を表示させる場合
【*】【*】【8】【1】【1】を押します。

● 「機種名」を表示させる場合
【*】【*】【8】【1】【0】を押します。

Aterm の液晶ディスプレイ

アイト ルヒョウジ
1:トケイ

アイト ルヒョウジ
0:Aterm

※ 電話機独自の機能で既に【*】【*】【1】を使用しているときは、電話機で設定できません。
【*】【*】【1】が使用できるかどうかは、電話機メーカーにお問い合わせください。

液晶ディスプレイのバックライトを設定する

Atermの液晶ディスプレイは、バックライトにより点灯表示する機能を持っています。初期値では、発信中や着信中にバックライトが点灯しますが、常時点灯または点灯しないように設定することができます。

必要に応じて設定してください。

● AUTOモード（初期設定）

発信中や着信中に点灯し、その他のときは消灯します。ただし、停電モード時は、点灯しません。

● 点灯モード

Atermの電源が入っているときは、いつでも点灯します。停電モード中は点灯しません。

● 消灯モード

消灯モードでは、常時バックライトは点灯しません。

● AUTO + データ通信中点灯モード

AUTOモードでの点灯に加え、データ通信中も点灯します。

● AUTO + Bチャンネル使用中点灯モード

AUTOモードでの点灯に加え、Bチャンネル使用中も点灯します。

ステップ1

受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定できます。

ステップ2

変更するモードによって次のように押します

AUTO + Bチャンネル使用中点灯モード

：【*】【*】【8】【0】【4】

AUTO + データ通信中点灯モード

：【*】【*】【8】【0】【3】

AUTOモード：【*】【*】【8】【0】【2】

点灯モード：【*】【*】【8】【0】【1】

消灯モード：【*】【*】【8】【0】【0】

ステップ3

受話器を置きます

Atermの液晶ディスプレイ



12月10日 9:47



バックライト
1: ON

点灯モードのとき

迷惑電話防止機能を使う

● かかってきた電話を迷惑電話に登録する

ステップ1 通話が終って受話器を置きます

ステップ2 受話器をあげます


ステップ3 【*】【*】【5】【2】を押します
相手の電話番号が表示されます。

ステップ4 【1】を押します

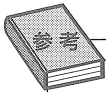
Aterm の液晶ディスプレイ


12月 1日 9:47

アナログAポートで通話していた例


メイワクデ ソフトウロク
03XXXXXXXXXX ■


03XXXXXXXXXX
キョヒシマス



次の場合でも迷惑電話防止登録ができます。

P: ヒツウチ

C: コウシュウデンワ

O: ヒョウジケンガイ

これらが表示されたときは、【1】を押した後に「P: ヒツウチ
キョヒシマスか?」と確認表示されますので迷惑電話に登録する
場合は、【#】を押してください。

ただし、登録すると、例えば「P: ヒツウチ」の場合、電話番号
を通知してこない電話はすべて受けられなくなりますのでご注意
ください。

ステップ5 【#】を押します


セツテイシマシタ


ステップ6 受話器を置きます

● 電話番号を新規に登録する

ステップ1

受話器をあげます


接続してある電話機のどれからでも設定
できます。



12月 1日 9:47

ステップ2

【*】【*】【5】【2】【2】を押します




メイワケデ ソフトウロク

ステップ3

【電話番号】【#】を押します

最大 15桁

例：03XXXXXXXX



03XXXXXXXX ■
キョヒシマス

P：ヒツウチを登録する場合

→ 【*】【0】【1】

C：コウシュウデンワを登録する場合

→ 【*】【0】【2】

O：ヒョウジケンガイを登録する場合

→ 【*】【0】【3】



長い電話番号を見るには
【*】【4】 前ページを見る
【*】【6】 次ページを見る

ステップ4

【#】を押します

引き続き設定するときは、【*】を押します。
ステップ2の表示になります。



セッテイシマシタ
*：ツギ #：オワリ

件数は最大20件入力可能です。

ステップ5

受話器を置きます

● 登録した電話番号を参照・削除する

ステップ1

受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定
できます。

12月 1日 9:47

ステップ2

【*】【*】【5】【3】を押します

- 次の登録内容を見るときは【8】を押します。
- ひとつ前の登録内容を見るときは【2】を押します。
- 登録件数を確認するときは【5】を押します。

メイウクデ ソフ
03XXXXXXXXXX ■



参考

長い電話番号を見るには

- 【4】 前ページを見る
- 【6】 次ページを見る

ステップ3

削除したい電話番号が表示されている画面 で【*】を押します

相手の電話番号が表示されます。

サクジ ヨシマス

ステップ4

【*】を押します

サクジ ヨシマシタ

ステップ5

受話器を置きます

サンショウ シュウリョウ